

岐阜大学の動向

2019年10月～2021年8月



松尾機構長、森脇久隆大学総括理事就任記者会見
及び看板除幕式を挙

2020年4月1日



岐阜大学の将来ビジョン (2021年度に向けて)

「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成」を目指します。

- 第3期中の取組 -

教育

高度な専門職業人の養成
地域単位でのTeach for
Communities

取組

- ▶ 新教員組織（教育研究院）の立上げ
- ▶ 理系修士課程（自然科学技術研究科）の設置・博士課程の改組とデザイン思考教育・マネジメント教育の導入
- ▶ 経営/マネジメント教育部門の立上げ：社会システム経営学環
- ▶ 大学機関別認証評価
- ▶ 教員養成課程の機能強化（学部定員見直し、推薦入試導入、教職大学院の充実）
- ▶ 社会人の学び直し教育への環境整備（ME養成のための施設整備）
- ▶ 医学教育共同利用拠点の機能強化と世界水準の医学教育開発の推進（フェローシップ立上げと学位（修士）化）
- ▶ 医学教育の充実（国際認証、看護学定員見直し、医療過疎対策）
- ▶ 獣医学博士課程の再編（連獣の解消、共同獣医専攻立上げ）
- ▶ 全学共通教育における英語教育の充実、数理データサイエンス教育の強化、農林畜産学教育の充実
- ▶ 入試方法の改善
- ▶ 教育推進・学生支援機構による教育の質保証システムの向上及び多様な学生への学修等支援の推進

教育推進・学生支援機構

グローバル推進機構

国際化

地域に根ざした国際化と
成果の地域還元

取組

- ▶ グローバル人材養成プログラムの整備充実（南アジア・ASEANを中心とした地域における海外オフィス・共同実験室の展開）
- ▶ 日本人学生と留学生の混在型教育の充実
- ▶ 海外協定大学とのJoint Degreeプログラム開始
- ▶ 多文化共生型による国際教養コースの設置
- ▶ 教員海外研修、事務職員海外実務研修の強化
- ▶ 留学生の就学・就職支援（インターンシップ）強化（東海コンソーシアム化）
- ▶ 留学生ネットワークの整備
- ▶ 諸団体、他大学とのグローバル事業共同展開

学術研究・産学官連携推進本部

大学病院

高度医療拠点としての機能
強化と地域医療への貢献

取組

- ▶ 地域連携の基盤に立った拠点機能の強化（パスセンターの県内配置、手術棟の建設、重粒子線治療施設の導入）
- ▶ 臨床研修体制の強化と自治体等との連携による地域医療人材の育成
- ▶ 臨床研究と創薬・新医療技術開発の推進
- ▶ 医療情報（電子カルテ）システムの統合

研究

教育の基盤としての
質の高い研究を展開

高等研究院

取組

- ▶ 生命科学/医薬獣/iCeMS研究拠点（生命の連鎖総合研究センター）の充実
- ▶ 地方創生エネルギーシステム研究センターの形成
- ▶ Guコンボジット研究センターの拡充/地域連携スマート金型技術研究センターの拡充
- ▶ 水環境リーダー学位プログラム化
- ▶ 学術研究・産学官連携推進本部による支援体制の強化

学術研究・産学官連携推進本部

社会貢献

地域社会の
活性化に貢献

取組

- ▶ 岐阜県との連携による教育研究の推進と地域貢献（防災・減災センター事業の推進、岐阜県中央家畜保健衛生所・食品科学研究所のキャンパス内移転、ぎふ地域学校協働活動センターの設置、航空宇宙生産技術開発センターの立上げ）
- ▶ COC事業とCOC+事業の推進（地域志向人材の育成・認証）
- ▶ 産官学連携事業による地域産業界への貢献を推進（東海（中部）コンソーシアム化、産学金官プロジェクト）
- ▶ ダイバーシティ戦略の県内展開

地域協学センター

管理部、大学戦略室

広報室

東海国立大学機構の立上げ
(2020年4月1日)

ガバナンス改革

取組

- ▶ 大学全体としてのガバナンスの透明化、温透
- ▶ 研究倫理をはじめとする法令遵守等に基づく適正な法人運営
- ▶ IR機能の活用による学内資源の再配分と教育研究組織の見直し

情報連携推進本部

大学戦略室

人事・給与制度改革

取組

- ▶ 多様な人材の登用と育成（女性幹部職登用、技術職員、高度専門職員の育成）
- ▶ 年俸制の導入
- ▶ 教員評価システムの検証・改善

～ 将来ビジョンに関連する取組 ～

【教育】

・医療者教育学専攻(修士課程)を設置	6
・コロナ禍による影響	8
・獣医師国家試験に全員合格	14
・高大連携「宇宙工学講座」の開講	15
・新課程「社会システム経営学環」を新設	18
・岐阜県農業技術センターと連携大学院方式による教育研究協力に関する協定締結	21
・岐阜県と「感染症寄附講座」の設置に関する協定締結	22
・産業動物臨床実習施設が完成	24

【研究】

・王副学長が開発:精密鍛造に「第三の基本工法」	26
・地方創生エネルギーシステム研究センター 第29回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞	27
・地球温暖化でシベリア永久凍土が大規模に融解した証拠を発見	29
・ジペプチドにコレステロール代謝改善作用があることを世界で初めて発見	30
・人工知能研究推進センターを設立	31
・イヌの新たな遺伝病を発見	32
・内閣府「イノベーション創出環境強化事業」に採択	33
・教育学部理科教育講座 仲澤和馬 シニア教授が「2020年度仁科記念賞」を受賞	34
・糖鎖分子科学研究センター 新たな知の拠点設置へ	35
・産学連携教授・産学連携准教授の称号付与及び産学連携重点研究室の授与式開催	37
・応用生物科学部 山根京子准教授が「第12回辻静雄食文化賞」を受賞	38

【国際化】

- ・リトアニア共和国大統領来日特別記念講演及び名誉博士号授与式を開催 …… 40
- ・「地元企業との交流会」を開催 …… 42
- ・岐阜ジョイント・ディグリー・シンポジウム2020を開催 …… 43
- ・杉原千畝記念館 館長特別講演会「在カウナス領事代理 杉原千畝に学ぶ」を開催 …… 44
- ・2021サマースクール(受入)をオンラインで開講 …… 45
- ・ジョイント・ディグリープログラム国際連携食品科学技術専攻(修士課程)の
第1期生(インド工科大学グワハティ校入学)が修了 …… 46

【社会貢献】

- ・企画展「岐阜大学コレクション展」を開催 …… 48
- ・岐阜県内公共団体との連携協定締結状況(瑞穂市、飛騨市、瑞浪市) …… 49
- ・岐阜県気候変動適応センター設置に関する協定を締結 …… 51
- ・2020ふるさとづくり事例集に岐阜大学地域協学センターが掲載 …… 53
- ・航空宇宙生産技術開発センター開所 …… 54
- ・岐阜大に最高評価 文部科学省「拠点大学による地方創生推進事業」 …… 56

【大学病院】

- ・夜間でも着陸可能！移動型照明を開発 …… 60
- ・ドクターヘリ運用開始10年 …… 61
- ・岐阜大学高等研究院遺伝子検査室が登録衛生検査所に認可 …… 62
- ・オンライン実習「岐阜大学病院バーチャル見学」を開催 …… 64

～ 学生活動等 ～

- ・「愛知県大学対抗ハッカソン“Hack Aichi”」で最優秀賞 …… 66
- ・本学留学生が講演:警察官が韓国文化学ぶ …… 67
- ・馬術部厩舎火災からの再建 …… 68
- ・「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」で文部科学大臣賞、審査委員会特別賞を受賞 …… 69

～ その他 ～

- ・国立大学法人東海国立大学機構 72
- ・第70・71回岐阜新聞大賞 76

将来ビジョン 「教育」

教 育

高度な専門職業人の養成
地域単位でのTeach for
Communities

- 新教員組織（教育研究院）の立上げ
- 理系修士課程（自然科学技術研究科）の設置・博士課程の改組とデザイン思考教育・マネジメント教育の導入
- 経営／マネジメント教育部門の立上げ：社会システム経営学環
- 大学機関別認証評価
- 教員養成課程の機能強化（学部定員見直し、推薦入試導入、教職大学院の充実）
- 社会人の学び直し教育への環境整備（ME養成のための施設整備）
- 医学教育共同利用拠点の機能強化と世界水準の医学教育開発の推進（フェロシップ立上げと学位（修士）化）
- 医学教育の充実（国際認証、看護学科定員見直し、医療過疎対策）
- 獣医学博士課程の再編（連獣の解消、共同獣医専攻立上げ）
- 全学共通教育における英語教育の充実、数理データサイエンス教育の強化、農林畜産学教育の充実
- 入試方法の改善
- 教育推進・学生支援機構による教育の質保証システムの向上及び多様な学生への学修等支援の推進



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

医療者教育学専攻（修士課程）を設置

【概要】

医学教育学とは医師・歯科医師、薬剤師、看護師ら医療従事者が医療系学生・若手医療者に対する教育のあり方やスキルを研究する学問です。海外では欧米を中心に128校もの専門修士課程がありますが、これまで国内で学べる課程はありませんでした。

本学では2001年から医学教育開発研究センター（MEDC）を立ち上げ、全国の教員・指導医に対し、教育に関する学識・スキルを高める取組みを進めてきました。その医療者教育に関する実績が、国内初となる医療者教育学専攻（修士課程）設置につながりました。

本専攻は中堅の医師・歯科医師、薬剤師、看護師、理学作業療法士等、指導する立場にある者の入学を想定しており、修了後は多様な医療者教育部門のリーダーとして活躍することを期待しています。

今後、本学は医療者教育分野をリードし、全国の医療系の指導者のレベルアップを推進していきます。

令和元年10月3日（木）に2019年度第7回学長記者会見を実施し、森脇学長から「大学院医学系研究科医療者教育学専攻（修士課程）の設置について」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで藤崎医学教育開発研究センター長から大学院医学系研究科医療者教育学専攻（修士課程）の設置背景や特色を説明しました。



医療者教育学専攻を説明する様子

左から：西城准教授、鈴木教授

藤崎医学教育開発研究センター長

岩間大学院医学系研究科長・医学部長

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/10/4	岐阜	医療の教育者 岐阜大で育成 国内初、専攻課程設置へ 若手指導、働きながら学ぶ ～ 森脇久隆 学長、医学教育開発研究センター 藤崎和彦 センター長 ～
2019/10/4	中日	「医療者教育学専攻」 岐阜大院が来春新設 国内初の分野 ～ 森脇久隆 学長、医学教育開発研究センター 藤崎和彦 センター長 ～
2019/10/4	読売	医療者教育 修士課程開設 岐阜大20 年度に 国内初 従事者向け ～ 森脇久隆 学長、医学教育開発研究センター 藤崎和彦 センター長 ～
2019/10/4	朝日	医療者教育の人材育成へ 岐大が来年度 国内初の修士課程 ～ 森脇久隆 学長、医学教育開発研究センター 藤崎和彦 センター長 ～

コロナ禍による影響

【概要】

令和元年度の学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、長良川国際会議場における卒業生・修了生が一堂に会する式典は中止し、令和2年3月25日（月）に本学講堂において各学部及び各研究科の代表者のみで実施し、本学公式YouTubeチャンネルにてその様子がライブ配信されました。



森脇学長から代表者に学位記を授与

岐阜市内における新型コロナウイルス感染患者の発生と、その後の急速な感染状況の進展に対応するため、岐阜大学は令和2年4月6日（月）～5月20日（水）まで、附属病院を除く全部局を全館閉鎖しました。これに伴い、4月7日の入学式も中止とし、大学の公式チャンネルで森脇学長らによる新入生への祝福メッセージを配信しました。



対面授業は、感染防止装置（※1）の上、6月4日から実施、封鎖中はインターネットを活用して、e-ラーニングで行いました。

※1：主な感染防止措置

- ・e-Learning 形式の継続やクラス分けなどにより、各学部・研究科として登校する学生数を50%までに抑制します。
- ・教室定員の60%程度未滿となる人数により、授業を実施します。
- ・実験機器や備品等を共有する場合は、その消毒を徹底します。
- ・クラスター発生のリスクが高まる「3つの密」を避けます。
- ・専門家会議が示した「感染防止の考え方」に沿った対応を遵守します。

コロナ禍による影響

【概要】

令和2年4月からの新型コロナウイルス感染症蔓延の影響は岐阜大学に通学する学生にも大きな影響を及ぼしており、修学に困難を来している学生を対象に、岐阜大学独自の「学生支援プラン」として生活支援金「3万円」の給付事業（「新型コロナウイルス感染症緊急対策プロジェクト 学生支援プラン～夢をあきらめな～」）を岐阜大学基金から緊急支援し、2,327名 6,981万円の支援金を給付しました。

令和2年10月1日（木）～令和2年11月30日（月）の平日において新型コロナウイルス感染症の感染防止策の一環として、通学バスにおける密集した環境を避けるため、岐阜バスのご協力のもと、学生の皆さんの帰宅が集中する時間帯において、岐阜大学を出発しJR岐阜駅に直通するバスを6便追加しました。

令和2年度の学位記授与式も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年3月25日（木）に本学講堂において各学部及び各研究科の代表者のみで実施し、本学公式YouTubeチャンネルにてその様子がライブ配信されました。



森脇学長から代表者に学位記を授与

令和3年4月7日（水）の本学入学式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新入生の健康・安全面を最優先に考えた結果、代表者のみの出席により挙行いたしました。

本学は、新入生の皆様のご入学を心から歓迎するとともに、学問への取り組みや様々な活動への挑戦を全力で支援します。



コロナ禍における 岐阜大学の教育学生生活に関する取り組み



岐阜大学 学長
森脇 久隆

安心して学べる
環境づくり

本学は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極め、国・県の対策方針や専門家の意見を取り入れながら、学生をはじめとする大学構成員の安全を確保しつつ充実した教育を行う

方策を検討してきました。また、コロナ禍で不安になっている学生の心のケアについても対応してきました。

大学教育は知識習得のみを目的とするものではなく、事象に対する判

断や考え方を深く学ぶことができる対面授業は大学教育の根幹を成すものだとの考えから、特に大学の学びに慣れていない1年生の授業については、できるだけ対面授業が実施できるように、早い段階から努めてきました。

これから岐阜大学入学を目指す皆様にも安心して大学生活を送ってもらえるよう、本稿で本学の取り組んできたコロナ対策の一部をご紹介します。今後も、より一層安全に配慮しながら教育の質の向上を目指してまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りたいと思います。

授業における取り組み

教室の定員制限



消毒、ウェットティッシュの配置



遠隔授業の取り組み



ZOOMを活用した授業の様子

教室の密状態回避のため、受講者数が教室定員の6割以内になるよう履修登録数を制限し、さらに大学内の滞在者数も通常の6割程度に抑えるため、教育の質を確保しつつオンライン授業の導入などの工夫を行ってきました。また、各教室や各フロアに消毒液やウェットティッシュを配置したり、マスク着用を促すポスター等を作成したりするなど、感染予防の呼び掛けを日常的に行っています。

学生生活における取組み

昼食時の食堂の混雑解消のため、キッチンカーを学内に配備するとともに、食事をする場として一部の教室を開放しました。また、岐阜大学生協の協力を得て、食堂にパーティションを設置し、感染防止に努めています。

食堂のパーティション設置等



昼食用に教室を開放



混雑緩和のためのキッチンカー



相談無料で
秘密は守られます

メンタルヘルスのオンライン相談



問い合わせはこちら

保健管理センターでは
皆さんが健康な学生生活を
送れるようサポートしています。



コロナウイルス感染拡大防止措置としてサークル等の課外活動が制限されるなど、友人と会って会話したり相談したりする機会が減ってきています。そうした状況に不安を抱える学生をケアできるよう、精神科医や臨床心理士によるメンタル・ヘルスのオンライン相談を開始しました。一人で抱え込まず、ぜひ保健管理センターで専門家に相談してください。

金銭的支援

PC・タブレットの購入支援

学内の密状態を回避するオンライン授業に対応するために急速にパソコンやタブレット等の購入が必要になった学生に対し、購入費の無利息貸付(上限10万円)を行いました(成績が優秀であれば返還が免除されます)。

留学生支援

留学生に対し、入国後の防疫措置によりホテル等に滞在する際の費用の一部を支援し、新型コロナウイルス感染拡大の影響で緊急に資金が必要な場合に利用できる、無利息での一時貸付を行いました。また、特例として、帰国困難者に対しては、留学生宿舍の入居の延長措置を行いました。

学生支援プラン

本学独自の「学生支援プラン」の取組みとして、親元を離れ大学生活を送っている学生に、学業に安心して専念でき、夢をあきらめることなく前向きに学生生活が送れるよう、生活支援金(3万円)の給付を行いました。

学生を大学で雇用

新型コロナウイルス感染拡大の影響でアルバイト収入がなくなった学生を雇用し、オンライン授業の資料作成や授業撮影、動画編集等を行っていただきました。この取組みは、学生の生活支援につながっただけでなく、授業担当の先生方の負担減にもつながったため、たくさんの先生方から感謝の言葉をいただいています。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/3/5	岐阜	岐阜大の卒業式 規模大幅縮小へ 代表学生のみ出席
2020/3/5	中日	岐阜大の卒業式 規模縮小し開催
2020/3/5	朝日	岐大、全員参加の卒業式中止
2020/3/6	読売	岐阜大学位記授与式 代表者のみで実施へ 様子はライブ配信
2020/3/26	岐阜	岐阜大「50人」で卒業式 新型コロナ対策 代表出席、ライブ配信
2020/4/2	日刊工業	岐阜大も学内閉鎖
2020/4/5	毎日	岐阜大建物閉鎖
2020/4/8	岐阜	ユーチューブで「入学おめでとう！」 岐阜大が式中止、メッセージ配信 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/4/9	中日	岐阜大の学長ら祝辞 ユーチューブで公開 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/4/10	中日	対面授業 来月20日まで休止 岐阜大 eラーニングを活用
2020/9/28	中日	岐阜大の対面授業 後期さらに増加へ 森脇学長、対策報告 ～ 森脇久隆 学長、村上啓雄 名誉教授 ～
2020/12/12	岐阜	遠隔授業方法「説明不足」 東海8国立大に改善措置を要請 総務省
2020/12/12	読売	オンライン授業 前期98% 東海の国立大 通信環境周知に課題
2020/12/12	毎日	東海8大学に改善通知 行政評価局 オンライン授業巡り
2020/12/12	朝日	遠隔授業の内容や評価基準 「学生への説明不足」 総務省、東海4県の国立大調査

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/12/13	中日	遠隔授業の実態把握 岐阜大などに求める 中部管区行政評価局
2020/12/13	毎日	東海8大学に改善通知 行政評価局 オンライン授業巡り
2021/4/8	岐阜	「社会担う力を育む」 岐阜大入学生代表が決意 ～ 応用生物科学部 浅見紬さん、教育学研究科 幅伊吹さん ～
2021/4/8	中日	新入生代表18人で入学式 岐阜大・規模を縮小 ～ 応用生物科学部 浅見紬さん、教育学研究科 幅伊吹さん ～

獣医師国家試験に全員合格 – 3年連続の快挙

【概要】

2020年2月に実施された第71回獣医師国家試験において、岐阜大学は、現役受験生35名全員が合格しました。これで第69回（2018年）から3年連続して全員合格となりました。過去20年間、全国に16ある国公私立獣医系大学で、2年連続で全員合格したのも岐阜大学だけであり、3年連続は特筆すべき快挙と言えます。

共同獣医学科では、国際通用性・社会性豊かな獣医師養成を目指して、教育連携、コア・カリキュラムの策定など教育研究体制の充実に取り組んでおります。今後も優秀な獣医師を社会に輩出するよう、教育研究環境のさらなる充実を目指してまいります。



獣医師国家試験の結果(大学別)

区分	大学名	第71回			第70回			第69回			第68回			第67回			第66回		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
新卒者	北海道大学	45	43	95.6%	37	36	97.3%	38	37	97.4%	38	33	86.8%	41	34	82.9%	38	34	89.5%
	帯広畜産大学	40	40	100.0%	44	33	75.0%	31	31	100.0%	42	35	83.3%	38	32	84.2%	44	33	75.0%
	岩手大学	36	34	94.4%	30	29	96.7%	31	30	96.8%	36	33	91.7%	29	27	93.1%	32	31	96.9%
	東京大学	26	24	92.3%	24	23	95.8%	31	29	93.5%	31	25	80.6%	31	26	83.9%	32	24	75.0%
	東京農工大学	36	34	94.4%	42	42	100.0%	35	34	97.1%	38	35	92.1%	36	36	100.0%	36	32	88.9%
	岐阜大学	35	35	100.0%	28	28	100.0%	33	33	100.0%	30	27	90.0%	33	31	93.9%	28	22	78.6%
	鳥取大学	33	31	93.9%	35	32	91.4%	38	36	94.7%	40	36	90.0%	30	29	96.7%	30	26	86.7%
	山口大学	33	28	84.8%	28	27	96.4%	26	26	100.0%	30	26	86.7%	31	26	83.9%	31	28	90.3%
	宮崎大学	30	29	96.7%	32	28	87.5%	29	28	96.6%	26	23	88.5%	31	27	87.1%	29	27	93.1%
	鹿児島大学	32	31	96.9%	31	28	90.3%	30	29	96.7%	33	27	81.8%	30	28	93.3%	29	24	82.8%
	大阪府立大学	43	41	95.3%	46	42	91.3%	45	44	97.8%	45	40	88.9%	39	35	89.7%	44	35	79.5%
	酪農学園大学	129	107	82.9%	129	117	90.7%	124	117	94.4%	138	124	89.9%	146	125	85.6%	128	117	91.4%
	北里大学	118	114	96.6%	129	117	90.7%	125	121	96.8%	132	117	88.6%	130	115	88.5%	135	107	79.3%
	日本獣医生命科学大学	95	92	96.8%	75	74	98.7%	93	92	98.9%	80	74	92.5%	93	82	88.2%	85	79	92.9%
	日本大学	118	115	97.5%	134	128	95.5%	119	116	97.5%	138	112	81.2%	129	117	90.7%	131	116	88.5%
	麻布大学	136	130	95.6%	133	112	84.2%	138	133	96.4%	151	132	87.4%	142	118	83.1%	157	121	77.1%
	新卒者数計	985	928	94.2%	977	896	91.7%	966	936	96.9%	1,028	899	87.5%	1,009	888	88.0%	1,009	856	84.8%
	既卒者	179	86	48.0%	146	38	26.0%	291	181	62.2%	258	98	38.0%	282	135	47.9%	220	77	35.0%
	受験資格認定者	19	9	47.4%	18	8	44.4%	20	11	55.0%	10	3	30.0%	8	1	12.5%	12	5	41.7%
	予備試験合格者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	1,183	1,023	86.5%	1,141	942	82.6%	1,277	1,128	88.3%	1,296	1,000	77.2%	1,299	1,024	78.8%	1,241	938	75.6%

注) 1. 「受験資格認定者」とは、獣医師法第12条第1項第2号に該当する者をいう。
 2. 「予備試験合格者」とは、獣医師法第12条第1項第3号に該当する者をいう。

高大連携「宇宙工学講座」の開講

【概要】

岐阜大学地域協学センターでは、令和2年7月6日（月）に令和2年度宇宙工学講座開講式をオンラインにて開催し、本講座を受講・聴講する岐阜県内の高校生及び高専生らが参加しました。

宇宙工学講座は、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」における高大連携事業の一環として、航空宇宙生産技術開発センターの協力のもと、岐阜県、各務原市、岐阜県教育委員会、岐阜かがみはら航空宇宙博物館及び岐阜工業高等専門学校と連携して実施されます。岐阜県内の高校生及び3年生までの高専生が、岐阜大学教員、JAXA等の講師による最先端の宇宙工学に関する教育をオンラインで受講することができ、今年度は48名が受講・聴講します。なお、これまでにのべ56校が参加、167名の修了生を輩出しています。

開講式では森脇学長から「ここで得た貴重な経験を今後様々な分野で生かしてほしい。」と挨拶があり、岐阜かがみはら航空宇宙博物館からの中継、宇宙飛行士の山崎直子さんら国内外の宇宙機関・関係者のビデオメッセージ、受講生紹介などが行われました。

また、講座の5周年を記念し、「宇宙工学講座の過去・現在・未来」と題した座談会が開催され、受講生からの岐阜大学に関する質問等に森脇学長と佐々木地域協学センター副センター長が答えました。座談会では、本講座の修了生らが実施する「はやぶさ2サンプルリターンカプセル観測プロジェクト」についても紹介があり、村井工学部長、益川地域協学センター長からは受講生へエールが送られました。

今後本講座では、12月19日（土）の閉講式までに9回の講義が実施されます。



森脇学長と受講生との記念撮影

高大連携「宇宙工学講座」の開講

【概要】

本学地域協学センターは、令和3年7月4日（日）に令和3年度宇宙工学講座開講式を岐阜かかみがはら航空宇宙博物館にて開催し、本講座を受講・聴講する岐阜県内の高校生及び高専生らが出席しました。また、一部の受講生はリモートで参加しました。

宇宙工学講座は、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」における高大連携事業の一環として、本センターが航空宇宙生産技術開発センターの協力のもと、岐阜県、各務原市、岐阜県教育委員会、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、岐阜工業高等専門学校と連携して実施しています。岐阜県内の高校生及び3年生までの高専生が、岐阜大学教員、JAXA等の講師による最先端の宇宙工学に関する教育をオンラインで受講することができ、今年度は63名が受講・聴講します。なお、これまでの5年間でのべ66校が参加、211名の修了生を輩出しています。

開講式では森脇学長からの挨拶、国内外の宇宙機関・関係者のビデオメッセージ、受講生紹介などが行われました。また、缶サット甲子園全国大会で技術賞を受賞した岐阜工業高等専門学校チームによる「缶サット甲子園全国大会」の報告、講座の修了生らによるJAXAプロジェクト「はやぶさ2カプセル研究プロジェクト」の報告があり、森脇学長と村井工学部長との質疑応答が行われました。

今後本講座では、12月18日（土）の開講式までに9回の講義が実施される予定です。



プロジェクト報告者と森脇学長、村井工学部長との質疑応答の様子



出席者の記念撮影の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/7/7	岐阜	航空宇宙産業、広がる夢 岐阜大や高校連携の講座が開講式 オンラインで参加 受講生ら進学質問 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/7/7	中日	「宇宙工学講座」オンライン開講式 県内高校生らを山崎さん激励 ～ 森脇久隆 学長 ～
2021/7/6	岐阜	宇宙工学 膨らむ興味 高大連携の岐阜大講座 宇宙博で開講式

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2020/7/7	CCN 地上デジタル12ch 「エリアトピックス」	宇宙工学講座開講式の様子を紹介

新課程「社会システム経営学環」を新設

【概要】

令和2年9月24日（木）に令和2年度第2回学長記者会見を実施し、森脇学長から「社会システム経営学環の設置」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで肥後新学部設置準備室長から社会システム経営学環の設置背景や概要、特色について説明しました。

近年、岐阜県を含めて、地方の人口減少や少子高齢化が大きな課題となっており、地域経済の活性化や地方創生の実現に貢献でき、イノベーションを創出する人材の育成が地域から求められています。これらの課題を解決すべく本学では令和3年4月1日に、昨年改正された大学設置基準により新たに設けられた学部等連係課程制度に基づく学部相当の全国初の教育課程として、社会システム経営学環を設置します。

本学環では、実践的な課題解決能力や経営力を修得し、豊かで活力ある社会システムの実現に貢献できる人材の育成を目標としています。これにより優秀な若者が県外へ流出してしまうことを防ぎ、地元定着につながることを期待しています。

1つのキャンパスに全学部等が集結している総合大学であることも本学の強みですが、これを最大限に生かし「ビジネス・まちづくり・観光」の分野で蓄積を有している地域科学部、工学部、応用生物科学部が連係協力学部となり、既存の枠組みを超えて充実した教育や研究を実施していきます。



説明する森脇学長



社会システム経営学環について説明する
肥後新学部設置準備室長

新課程「社会システム経営学環」を新設

【概要】

令和3年4月1日付で設置した社会システム経営学環（以下、「経営学環」という。）をさらに広く知っていただき、教育研究活動、社会貢献活動を今後一段と発展させるために、6月30日（水）に表札除幕式及びシンポジウムの設置記念行事を挙行了しました。

経営学環の表札の除幕式は、全学共通教育講義棟前で開催しました。初めに森脇学長から激励を含めた挨拶があり、肥後 睦輝経営学環長から設置に至るまでの多数の協力者への謝辞とともに、学生、教職員とともになお一層前進したいとの思いが述べられ、経営学環の1期生を代表して小椋 一瑛さんから、決意を新たにされた挨拶がありました。続いて、表札の序幕が執り行われ、森脇学長、学生、教職員による記念撮影を行い、更なる飛躍を祈念しました。次に、会場を講堂に移し、オンラインを併用した社会システム経営学環設置記念シンポジウム『探求と探究「学び」を「環」にする岐阜大学の挑戦』を開催しました。

肥後経営学環長の開催挨拶及び経営学環の概要説明の後、第1部は、「地域社会を変えていく起業家とは？ 30年に及ぶ起業家人生を通じて」と題して、Global Mobility Service株式会社 中島 徳至代表取締役社長による基調講演を行いました。第2部は、「多様な学びを「環」にしてこれからの社会をつくる」と題して、経営学環 高木 朗義教授をコーディネーターとして、伊藤 知子氏（長良川温泉若女将协会会长）、岡田 さや加氏（柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社代表取締役）、鈴木 哲馬氏（岐阜県中小企業家同友会代表理事）、中島 徳至氏（先述）ら4名の登壇者がそれぞれの立場から議論を交わす、パネルディスカッションを行いました。質疑応答では経営学環の学生からの質問などもあり、会場全体で議論を深めました。

本シンポジウムには学内外145人の参加がありました。経営学環における人材養成のあり方を様々な視点で議論したシンポジウムから得た学びを、経営学環における教育・研究・社会貢献の発展に活かしていきます。



代表挨拶をする小椋 一瑛さん



設置記念シンポジウム
中島 徳至氏による「基調講演」

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/4/30	岐阜	「経営学」経済界が熱視線 岐阜大新組織, 人材育成へ 岐阜大に「経営学環」 3学部横断の新課程申請
2020/9/6	中日	「経営学環」設置決まる 岐阜大に来春 一般・推薦計 30人募集 ～ 社会システム経営学環 ～
2020/9/25	岐阜	来春設置「社会システム経営学環」 企業・自治体で長 期実習
2020/9/25	中日	岐阜大に来春設置の経営学環 学長「名称は先行事例 に」 ～「社会システム経営学環」～
2020/9/25	朝日	岐阜大、「経営学環」設置へ ～「社会システム経営学 環」～
2020/9/25	日本 経済	岐阜大が「経営学環」開設 来年4月に ～「社会シス テム経営学環」～
2021/7/1	岐阜	社会システム経営学環 岐阜大新課程 看板の除幕式 1期生は32人 ～ 肥後睦輝学環長、1期生 小椋一瑛 さん～
2021/7/1	中日	岐阜大新学環 表札の除幕式 ～ 森脇久隆学長、1期 生 小椋一瑛さん～

岐阜県農業技術センターと連携大学院方式による 教育研究協力に関する協定締結

【概要】

令和3年4月27日（火）に、本学大学院自然科学技術研究科（以下「自然研」という。）は岐阜県農業技術センターと連携大学院方式による教育研究協力に関する協定を締結しました。

本協定は相互に連携し大学院生への研究指導を行う連携大学院方式により、研究活動の推進及びその成果の普及と教育研究活動の一層の充実を図り、本県農業の振興とそれを担う人材の育成に寄与することを目的としています。

協定書締結式では、岐阜県農業技術センター宮田和也所長、自然研の光永研究科長が協定書へ署名を行いました。その後、岐阜県農業技術センター宮田和也所長から「大学との連携を深めることにより、大学が保有する先端技術の知見やノウハウを活用した研究が促進できるとともに、将来の岐阜県農業を支える研究人材の育成につながるものと大変期待している。」と挨拶があり、自然研の光永研究科長は「応用実践教育が求められる中、岐阜県農業技術センターとの連携は極めて重要である」と述べました。

今後は、大学院生の県農業研究への直接参画や、県農業技術センター研究員が指導教員となる大学院生へ指導等を実施し、自然科学技術研究科での学びを充実させていきます。



挨拶する光永研究科長



協定書を手にする宮田所長(左)と光永研究科長(右)

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/5/3	中日	院生指導で連携 県農業技術センター 岐阜大と協定締結 ～自然科学技術研究科 光永徹研究科長～
2021/5/7	岐阜	県農業技術センターと岐阜大大学院 農業研究参加で協定 ～自然科学技術研究科 光永徹研究科長～

岐阜県と「感染症寄附講座」の設置に関する協定締結

【概要】

岐阜大学と岐阜県は、令和3年7月30日(金)に、県内における質の高い感染症教育による専門医の育成等を目的に、「感染症寄附講座（岐阜県）」を岐阜大学大学院医学系研究科に設置することとし、それに関する協定を締結しました。

本協定は、感染症の診療及び制御に長けた医療従事者を育成し、岐阜県の感染症全般にわたる医療提供体制の一層の充実を図るため、「県内感染症専門人材の育成」、「地域連携による県内感染制御体制の強化」、「感染症学・感染制御学・感染症災害に関する学術的研究の実施」を目的とし、寄附講座を設置するものです。

協定締結式では、古田肇岐阜県知事、森脇久隆岐阜大学長が協定書に署名を行いました。その後、森脇学長から「当面は新型コロナウイルス感染症への対応が中心となるが、今までの臓器別の感染症対応から、横断的、つまり全身を見ながらの感染症対策につなげることができる」と寄附に対する謝辞があり、古田知事からは「感染症専門医の人材不足への対応を期待し、感染症対応の体制をともに作っていききたい」と挨拶がありました。

本協定の締結を契機として、新型コロナウイルス感染症対応等、岐阜県の感染症に対する体制を強化するとともに、将来「新興感染症」が発生した場合においても、県民の安全・安心を高められるよう邁進していきます。



協定書署名後の記念写真

(左から堀岐阜県健康福祉部長、古田知事、森脇学長、中島医学系研究科長、小倉教授(救急・災害医学分野))

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/7/31	岐阜	岐阜大に感染症講座 人材育成 県の寄付で設置
2021/7/31	中日	感染症の人材育成 岐阜大に寄付講座 県と協定締結 ～ 森脇久隆 学長 ～
2021/7/31	読売	感染症寄付講座 県と岐阜大協定 ～ 森脇久隆 学長 ～

産業動物臨床実習施設が完成

【概要】

令和2年度より整備を進めてきた本学柳戸農場内の「産業動物臨床実習施設」が完成しました。

本施設は、主に応用生物科学部の教育研究に使用し、将来の産業動物獣医師および畜産系専門職業人の育成のために活用されます。隣接する岐阜県中央家畜保健衛生所ともさらに連携を強化し、伝染病の発生予防、蔓延防止に努めていきます。また、本学のようにキャンパス内に畜産施設が併設されている大学は近隣にはないため、他大学の実習にも活かされます。

令和3年7月26日（月）には見学会を開催し、学内関係者18名が参加しました。参加者からは「この実習施設の完成により、教育効果向上と研究支援効果向上が、大いに期待できる」との声がありました。

本施設は本年度末の本格運用開始を目指します。



完成した実習施設



施設内の様子



見学会の様子



説明する大場岐阜フィールド科学教育研究センター長

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2020/7/27	CCN 地上デジタル12ch 「エアトピックス」	産業動物臨床実習施設の竣工・見学会の様子を紹介

将来ビジョン 「研究」



- 生命科学／医薬獣／iCeMS研究拠点（生命の鎖統合研究センター）の充実
- 地方創生エネルギーシステム研究センターの形成
- Guコンポジット研究センターの拡充／地域連携スマート金型技術研究センターの拡充
- 水環境リーダー学位プログラム化
- 学術研究・産学官連携推進本部による支援体制の強化



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



王副学長が開発：精密鍛造に「第三の基本工法」

【概要】

本学の王副学長が、金属加工の分野で、工具の圧力が従来の10分の1程度で加工することができる「切削鍛造加工法」を発明しました。

プレス機などで金属の塊をたたいて目的の形にする加工法を「鍛造加工」といい、このうち、常温で行うものを「精密鍛造」と呼びます。

精密鍛造には、金属の塊に力を加える「据込み」「押し出し」の二つの基本工法がありますが、王副学長が発明した第三の方法は、カップの底に下から力を加えて、底を上方向に移動させるような加工ができます。

これまでは加工が難しかった素材にも使用できる工法で、金属の塊でなくとも、例えばカップのような形をした加工品にも使用できます。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/11/29	朝日	金属加工 工具圧力10 分の 1 に 精密鍛造に「第三の基 本工法」 岐大・王副学長が開発 ～ 王志剛 副学長 ～

地方創生エネルギーシステム研究センター 第29回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞

【概要】

地方創生エネルギーシステム研究センターは2018年度に設置され、太陽電池や風力発電などの再生可能エネルギーを「つくる」「ためる」「はこぶ」「つかう」というそれぞれの革新的な技術を基に、再生可能エネルギーの地産地消による地域のエネルギー自立を目指し、地域特性に合わせた効率良いエネルギー利用を行うためのエネルギーシステムの構築を進めています。

令和元年11月7日（木）に2019年度第8回学長記者会見を実施し、森脇学長から「地方創生エネルギーシステム研究センター」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで板谷研究推進・社会連携機構地方創生エネルギーシステム研究センター長から地方創生エネルギーシステム研究センターの研究内容や設備整備状況を説明しました。

令和元年11月12日（火）には、再生可能エネルギーマネジメントシステムオープン式典が行われ、地方創生エネルギーシステム研究センターに整備された、学内試験設備が披露されました。式典では国内国立大学では唯一の設備を活用した本センターの研究内容が紹介され、参加者はセンターの研究の進展に期待を寄せました。

また、本学は令和2年3月12日（木）には、フジサンケイグループが主催する第29回地球環境大賞の「文部科学大臣賞」を受賞することが決定しました。

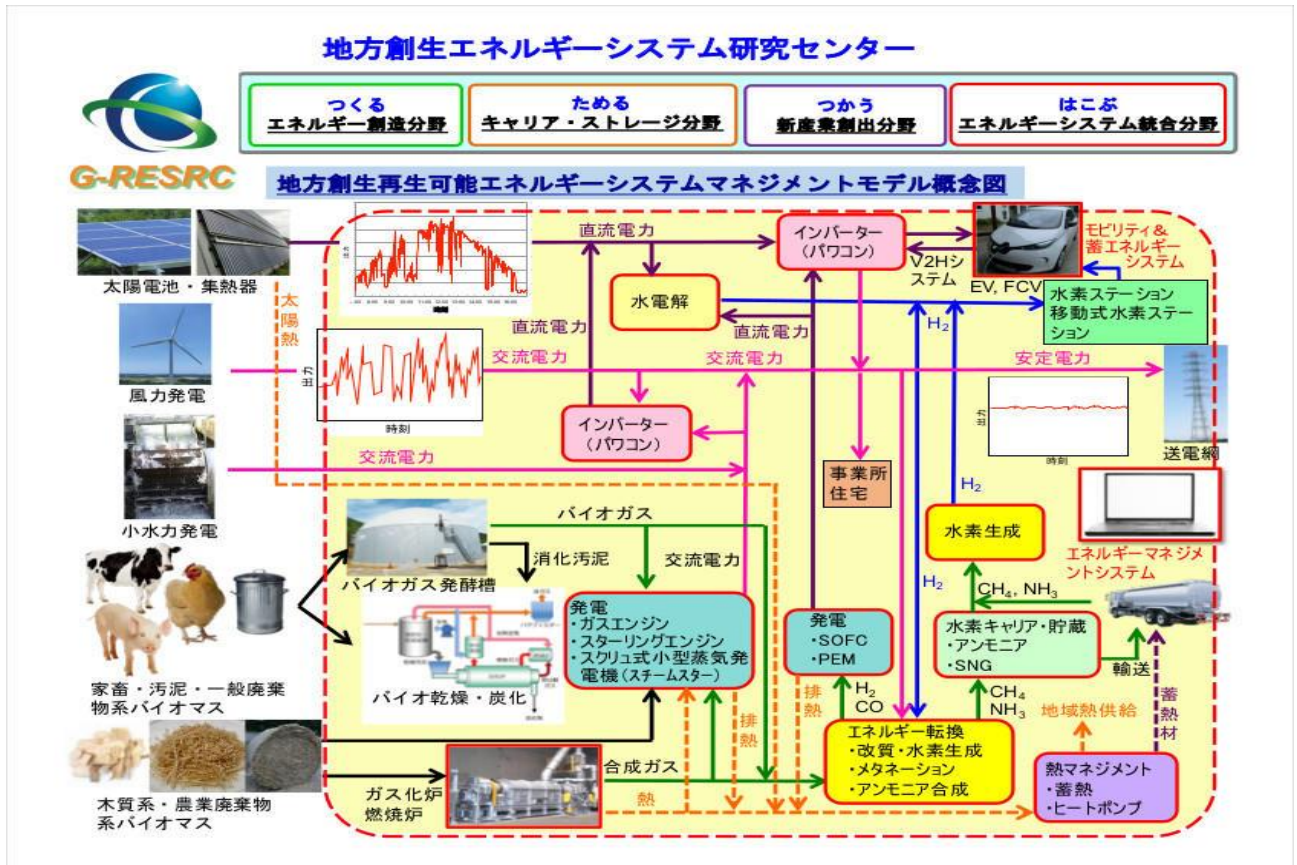
岐阜大学は「環境ユニバーシティ」宣言のもと、2016年に岐阜県や民間企業3社と「水素社会の実現に向けた産学官連携協定」を締結し、地方創生エネルギーシステム研究センターの産学官連携による「中山間地域での地産地消型地域エネルギーシステム」（地方創生きいふモデル）の社会実装試験を推進し、再生可能エネルギーの発電に加え、AI（人工知能）や水素技術、電動車両などを組み合わせた最適エネルギーマネジメントシステムの構築を目指していること等が高く評価され、今回の受賞となりました。



板谷地方創生エネルギーシステム
研究センター長



試験設備披露の様子



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/11/30	朝日	「地産地消」エネルギーシステム 岐阜大に新試験設備 水素生成などのデータ解析 ～ 地方創生エネルギーシステム研究センター 中川二彦 教授 ～

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2020/10/18	BSフジ 14:00～14:55	地球環境大賞2020 ～ さかなクンが徹底調査！ニッポン環境問題最前線 ～

地球温暖化でシベリア永久凍土が大規模に融解した証拠を発見

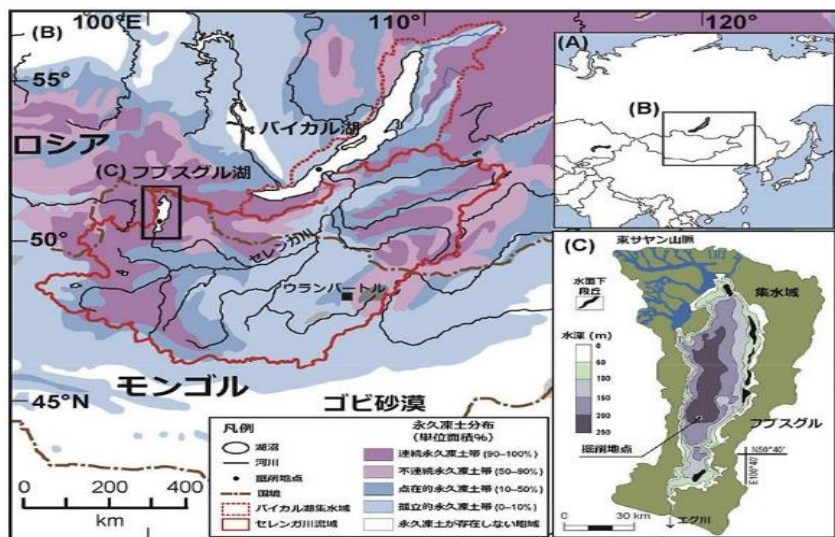
【概要】

本学教育学部の勝田長貴准教授は、大妻女子大学、天草市立御所浦白亜紀資料館、総合地球環境学研究所、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所、岐阜聖徳学園大学と共同で、シベリア永久凍土連続地帯に位置するモンゴル北西部の湖沼堆積物の研究を行い、約13,700年前と約11,000年前の二つの時期にシベリア永久凍土が大規模融解したことを世界で初めて明らかにしました。

本研究成果は、令和元年11月15日（金）にアメリカ地球物理学連合（AGU）の国際誌「Geophysical Research Letters」に掲載されました。

<本研究成果のポイント>

- ・モンゴル北西部・フスグル湖周辺はシベリア永久凍土連続地帯に位置しており、その永久凍土は最終退氷期（15,000～8,000年前）の温暖化で融解し、特に、ベーリング・アレード温暖期に対応する13,700年前とプレボレアル温暖期の11,000年前に大規模融解したことが明らかになった。
- ・永久凍土地帯に分布する湖沼堆積物中の高濃度の硫黄含有層と硫黄同位体比（ $\delta^{34}\text{S}$ ）の正の異常は、永久凍土の大規模融解を示す指標となることが解明された。
- ・シベリア永久凍土南限は、最終氷期最盛期（21,000年前）にゴビ砂漠南部に存在していたが、最終退氷期（15,000～8,000年前）の温暖化の中で、セレンガ川に沿う永久凍土は13,700年前にはバイカル湖まで後退し、土壌の湿潤化とシベリアトウヒを中心とする森林が広がった。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/2/6	朝日	シベリア永久凍土 溶けた証拠を発見 温暖化で2回 時期も判明 ～ 教育学部 勝田長貴 准教授 ～

ジペプチドにコレステロール代謝改善作用があることを世界で初めて発見

【概要】

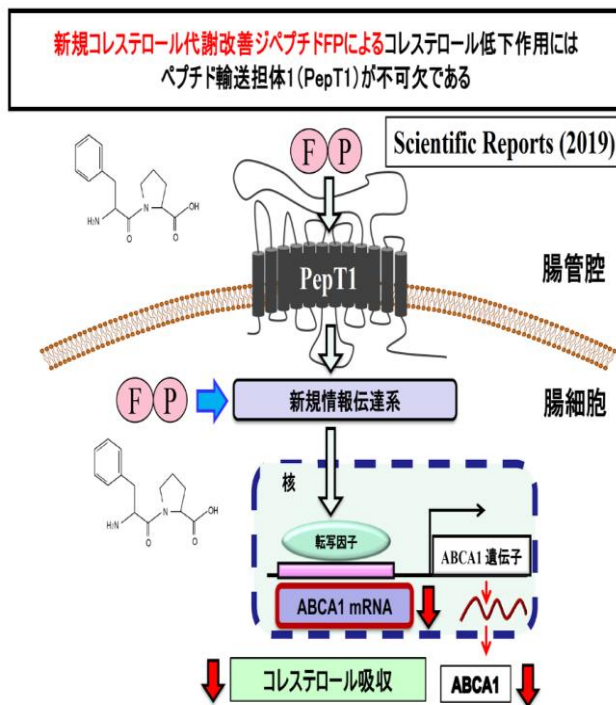
本学応用生物科学部・食品分子機能学研究室の長岡利（シニア教授・教授）、自然科学技術研究科2年の坂野新太さん、研究室修了生のオウジラトさん、岡田健司さん、連合農学研究科1年のマヘムティ・ミジティーさん、応用生物科学部4年の森峻輔さんで構成される研究グループは、ジペプチド（フェニルアラニン-プロリン：F P）にコレステロール代謝改善作用があることを世界で初めて発見し、その作用機構を解明しました。

これは400種類ある天然のジペプチドの中からF Pをコレステロール代謝改善ジペプチドとして世界で初めて特定したことになります。

本研究成果は、英国の国際誌「Scientific Reports」（電子版）に、令和元年12月19日（木）午後7時（日本時間）に掲載されました。

＜本研究成果のポイント＞

- ・ジペプチド（フェニルアラニン-プロリン：F P）にコレステロール代謝改善作用があることを世界で初めて発見した。400種類ある天然のジペプチドの中から、F Pをコレステロール代謝改善ジペプチドとして世界で初めて特定した。
- ・F Pは腸でのコレステロール吸収抑制作用により、コレステロール代謝改善作用を發揮することを解明した。
- ・F Pによるコレステロール代謝改善作用は腸のペプチド輸送担体（PepT1：腸でジペプチドやトリペプチドの吸収に関与）欠損マウスでは消失した。つまり、F Pの作用には、PepT1が必須であることを初めて発見した。
- ・コレステロール代謝改善作用を發揮するペプチドの探索評価において、腸のペプチド輸送担体（PepT1）が分子標的となることを発見した。
- ・腸のペプチド輸送担体（PepT1）は動脈硬化予防のための分子標的となることを発見した。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/1/28	朝日	コレステロールの代謝 アミノ酸結合物で改善 岐阜大の長岡利教授ら特定 医薬品や機能性食品へ期待 ～ 応用生物科学部食品分子機能学研究室 長岡利 教授 ～

人工知能研究推進センターを設立

【概要】

本学は、令和元年4月より人工知能の幅広い活用を推進する研究拠点として、人工知能研究推進センターを研究推進・社会連携機構に設置しました。

本センターは全学に広く人工知能、IoT、データサイエンスの最新技術を提供するとともに、学部間を跨ぐ研究組織形成の窓口として、世界に勝てる最先端研究を推進する基盤センターとなること、最新技術教育を行うことで人工知能、データサイエンス技術者の育成をすること、地域企業との共同研究支援や社会人のリカレント教育を行い、地域産業への最新技術、人工知能技術者の研究拠点となることを目的として、医農工教を横断するAI、IoT、データサイエンス研究拠点として設置されました。

令和2年1月28日（火）に、本センターの開所式を開催しました。

人工知能研究推進センターの3つの役割

研究

岐阜大学をAI、IoT、データサイエンスの先端研究集積拠点へ

- 人工知能、IoT、データサイエンスの先端的基礎研究
- 学部間オープンイノベーション研究グループ形成
- 戦略的イノベーション創出研究推進

地域貢献(社会貢献)

教育と共同研究を通じた地域産業の競争力強化と雇用創出、学生の地域定着

- 人工知能、IoT、データサイエンス技術の普及
- 共同研究、共同研究講座、技術相談
- インターンシップ、共同研究を通じた学生の地域企業への就職支援

教育

AI、IoT、データサイエンスの基礎教育と研究基盤構築、将来の研究者育成

- 学生向け先端人工知能、IoT、データサイエンス技術教育
- 岐阜大学研究者の最先端技術教育
- Supere Kids プログラムマナー育成

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/1/29	岐阜	岐阜大にAI 研究拠点 全5学部横断、人材育成目指す 開所式で地域貢献誓う ～ 人工知能研究推進センター ～
2020/1/29	中日	世界最先端のAI 研究センターに 岐阜大で開所式 地域貢献や教育も ～ 人工知能研究推進センター ～
2020/1/31	朝日	人工知能研究推進 岐阜大にセンター 学生らに最新技術提供 ～ 人工知能研究推進センター ～

イヌの新たな遺伝病を発見

ヒトの家族性大腸腺腫症に類似したイヌの遺伝性腫瘍を発見

【概要】

岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科の平田暁大助教、酒井洋樹教授、森崇教授、西飯直仁准教授、川部美史助教、連合獣医学研究科3年の吉寄響子さんらのグループは、イヌの新たな遺伝病「遺伝性消化管ポリポーシス」を発見しました。

本研究成果は、日本時間2020年5月23日に英国の国際誌Carcinogenesis誌のオンライン版で発表されました。また、論文発表に先行して、遺伝子診断法に関する国内特許を出願しており、共同出願した株式会社ケーナインラボにおいて遺伝子検査として事業化されています。

＜本研究成果のポイント＞

- ・新たなイヌの遺伝病「遺伝性消化管ポリポーシス」を発見した。
- ・本疾患は胃および大腸における腫瘍性ポリープ（腺腫・腺癌）の発生を特徴とする。
- ・本疾患はAPC 遺伝子の生殖細胞系列変異を原因とする優性遺伝病³⁾である。
- ・本疾患はヒトの家族性大腸腺腫症の類似疾患と考えられる。
- ・今後、遺伝子検査による確定診断や繁殖段階での発生制御が可能になる。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/7/5	朝日	イヌの新たな遺伝病を発見 ヒトの発がん仕組み解明の可能性 岐大助教ら消化管ポリープ研究 ～ 平田暁大 助教, 酒井洋樹 教授 ～

内閣府「イノベーション創出環境強化事業」に採択

【概要】

東海国立大学機構岐阜大学は、内閣府の「令和2年度国立大学イノベーション創出環境強化事業」に採択されました。

この事業は、国立大学のイノベーション創出環境に対してインセンティブ（交付金）を与えることによって、民間企業との共同研究等をさらに推進することを目的としており、国立大学重点支援①及び②の70大学のうち、昨年度採択された3大学を除いた67大学の中から2大学が採択されました。

本学のこれまでの外部資金の獲得実績と以下に示す8つの取組計画が高く評価され、本年度は3億円の交付金が配分される予定です。

これらの取組を通して、地域ブランドイノベーションエコシステムを創出してまいります。

地域ブランドイノベーションエコシステムの創出に向けた8つの取組

○ 東海国立大学機構の取組

①ウイズコロナを意識したデジタルツールの開発

②スタートアップ（ベンチャー）創設・成長支援の充実

③知財・技術移転、安全保障輸出管理の統合・強化

④コアファシリティ体制の強化

○ 岐阜大学の取組

①マッチングリソース型共同研究ラボ

②地域展開ビジョン2030の推進

③寄附金獲得体制の強化

④外部資金獲得が促進される人事制度改革

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/10/22	中日	岐阜大に3億円交付へ 内閣府「イノベ創出環境事業」採択
2020/10/23	岐阜	イノベーション環境強化事業 岐阜大を初採択 内閣府

教育学部理科教育講座 仲澤和馬シニア教授 「2020年度（第66回）仁科記念賞」受賞

【概要】

岐阜大学教育学部理科教育講座 仲澤和馬シニア教授の「2020年度（第66回）仁科記念賞」の受賞が発表されました。

仁科記念賞とは、故仁科芳雄博士の功績を記念して、わが国で原子物理学とその応用に関して優れた研究業績をあげた研究者を表彰するために1955年に創設され、毎年3件以内の研究業績が選ばれます。

今年度、仲澤シニア教授の「原子核乾板を用いたダブルストレンジネス原子核の研究」に対して、令和2年11月9日（月）に受賞が決まりました。仲澤シニア教授は、J-PARCの前身であるKEK12GeV陽子シンクロトロンとJ-PARCハドロン実験施設において、原子核乾板を用いた一連の実験を企画提案し推進してこられました。今回の受賞は、これら一連のダブルストレンジネス原子核の系統的研究が評価されたものです。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/11/10	岐阜	仁科記念賞に2教授 ～ 教育学部 仲澤和馬 シニア教授 ～
2020/11/10	中日	仲沢岐阜大教授ら仁科賞 ～ 教育学部 仲澤和馬 シニア教授 ～
2020/11/19	毎日	東大・鹿野田氏と岐阜大・仲沢氏 仁科記念賞 ～ 教育学部 仲澤和馬 シニア教授 ～
2020/11/25	岐阜	岐阜大・仲沢教授に物理の栄誉「仁科賞」ハイパー核 相次ぎ発見 研究30年超、独自手法を確立 ～ 教育学部 仲澤和馬 シニア教授 ～

糖鎖分子科学研究センター 新たな知の拠点設置へ

【概要】

東海国立大学機構では、岐阜大学及び名古屋大学が共同で、糖鎖を中心とした研究により生命の本質を解明し、医療応用の国際的な枠組みの中核となることを目指す「糖鎖生命コア研究所」を令和3年1月1日に設置しました。

「糖鎖分子科学研究センター」は、「糖鎖分子科学部門」と「研究基盤部門」の2部門（8分野）からなり、糖鎖の化学、イメージングに加え、分析技術や生命科学の高度な研究基盤を武器とした研究を推進します。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/10/16	岐阜	岐阜大に「糖鎖」研究棟 老化、認知症に関わる分子解析 23年完成 国内外500人と連携 ～ iGCORE拠点長 安藤弘宗 教授 ～
2020/10/17	中日	糖鎖 2万人調査研究へ 名大、岐阜大など 血液解析 老化の仕組み解明期待 ～ iGCORE拠点長 安藤弘宗 教授 ～
2020/12/23	中日	糖鎖研究所 共同設置へ 名大と岐大、来月発足 病気や老化など解明期待 ～ 糖鎖分子科学研究センター ～
2021/4/17	中日	第3の生命暗号 名大・岐阜大の糖鎖研究 上：感染症、がん解明に新たな視点 細胞の連携助ける「糖鎖」 明確ルールなくまだまだ謎多い
2021/4/25	中日	第3の生命暗号 名大・岐阜大の糖鎖研究 下：糖鎖の一大データベース計画 病気早期発見につなぐ 血液で性質調査 細胞連携解明へ

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2020/10/23	NHK岐阜 18:30～19:00 「まるっと岐阜」	糖鎖研究の内容や取り組みを紹介

産学連携教授・産学連携准教授の称号付与及び 産学連携重点研究室の授与式開催

【概要】

本学は、令和3年6月1日（火）、7月7日（水）に「産学連携教授・産学連携准教授の称号付与」及び「産学連携研究室の認定」の授与式を行いました。

今般、大学が持つシーズに対する企業からのニーズの高まりを受け、企業等からの大学への共同研究や受託研究の受入が年々増加しています。本学では、今年度から民間企業等から一定額以上の資金（共同研究・受託研究・受託事業）を受け入れた教員に特別な称号を付与することなどにより、企業等との連携を一層推進する目的で、本制度を開始しました。

授与式では、関係者の見守るなか、森脇学長から、次の受賞者に称号記及び認定書が授与されました。

- | | | | |
|------------|--------|---------|-----|
| ●産学連携教授 | 吉田 佳典 | 工学部 | 准教授 |
| ●産学連携教授 | 久武 信太郎 | 工学部 | 准教授 |
| ●産学連携准教授 | 落合 正樹 | 応用生物科学部 | 助教 |
| ●産学連携重点研究室 | 八嶋 厚 | 工学部 | 教授 |
| ●産学連携重点研究室 | 吉田 佳典 | 工学部 | 准教授 |

森脇学長は、「本学の新たな制度を活かして、一層の活躍を期待しています。」と激励の言葉を述べました。本学は、これらの産学連携を推進する制度により、今後も研究成果の社会還元を行っていきます。



森脇学長から認定書を授与される八嶋教授



集合写真
(左から) 王副学長、吉田准教授、八嶋教授、落合助教、森脇学長

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/6/3	岐阜	「産学連携教授」 岐阜大が新称号 准教授や講師，研究の励みに ～ 工学部 吉田佳典准教授，応用生物科学部 落合正樹 助教，工学部 八嶋厚 教授 ～
2021/6/4	中日	岐阜大、産学連携推進へ「称号」 ～ 工学部 吉田佳典准教授，応用生物科学部 落合正樹 助教，工学部 八嶋厚 教授 ～

応用生物科学部 山根京子准教授 「第12回辻静雄食文化賞」を受賞

【概要】

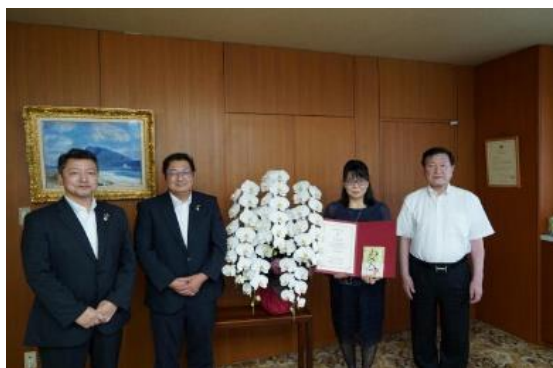
本学応用生物科学部 山根京子准教授が「第12回辻静雄食文化賞」を受賞しました。辻静雄食文化賞は、公益財団法人辻静雄食文化財団が我が国の食文化の幅広い領域に注目し、よりよい「食」を目指して目覚ましい活躍をし、新しい世界を築き上げた作品、もしくは個人・団体の活動を表彰するために創設された賞です。

今回の受賞は、山根准教授が昨年度出版した、「わさびの日本史」が評価されたものです。

令和3年7月5日（月）には学長へ受賞報告を行いました。山根准教授は「今後は「なぜわさびは辛いのか」など、さらにわさびの起源や進化に関する研究を進めたい」と目標を述べ、森脇学長は、「興味深い研究成果でした。これからも研究に邁進してほしい。」と称えました。



受賞の報告をする山根京子准教授（右）



集合写真
（左から）松田典明副学長、杉山誠副学長、
山根京子准教授、森脇久隆学長

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/1/22	朝日	ワサビのルーツ 氷河期に大陸から日本に 岐大研究チーム 葉緑体ゲノム解読 ～ 応用生物科学部 山根京子 准教授、自然科学技術研究科 羽賀夏子さん ～
2021/7/6	岐阜	ワサビ本 第二弾に意欲 辻静雄食文化賞 山根岐阜大准教授が報告 ～ 応用生物科学部 山根京子 准教授、森脇久隆学長 ～
2021/7/16	朝日	江戸のワサビ 令和の「お宝」 三鷹で細々栽培 DNA鑑定で「希少種」 ルーツは岐阜？ ～ 応用生物科学部 山根京子 准教授 ～

将来ビジョン 「国際化」



- グローバル人材養成プログラムの整備充実
(南アジア・ASEANを中心とした地域における海外
オフィス・共同実験室の展開)
- 日本人学生と留学生の混在型教育の充実
- 海外協定大学とのJoint Degreeプログラム開始
- 多文化共生型による国際教養コースの設置
- 教員海外研修、事務職員海外実務研修の強化
- 留学生の就学・就職支援（インターンシップ）強化（東海コ
ンソーシアム化）
- 留学生ネットワークの整備
- 諸団体、他大学とのグローバル事業共同展開

リトアニア共和国大統領来日特別記念講演及び 名誉博士号授与式を開催

【概要】

令和元年10月24日（木）にギターナス・ナウセーダ リトアニア共和国大統領が特別に来学され、特別記念講演及び名誉博士号授与式を開催しました。

大統領は「即位礼正殿の儀」への出席のため来日され、24日（木）にはリトアニア共和国と交友関係の深い岐阜県に来岐されたことから、本学にて特別記念講演が実施されました。

大統領は学生・教職員約400人を前に、“Lithuania and Japan : The way forward”をテーマにして、リトアニアと日本の交流の歴史、文化、経済、今後の関係について講演されました。講演の最後には大統領から「今後もさらなる交流を深めていき、一度築いた関係が決して途絶えることがないように祈っています」と述べられました。

また、本学は様々な事業を通してリトアニア共和国との交流を活発に進めており、その中で大統領自ら講義されたことは本学の教育研究及び国際交流の推進に大きく寄与し、今後、本学とリトアニア共和国との関係強化を期待して、大統領に名誉博士号を授与しました。

今後、本学は現在学術交流協定を交わしているリトアニア共和国のカウナス工科大学、ヴィータウタス・マグヌス大学とのさらなる連携を推進し、岐阜県と協力してリトアニア共和国との交流を一層深めます。



名誉博士号授与の様子



会場の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/10/25	岐阜	千畝氏が縁、一層交流 リトアニア大統領来岐 岐阜大で 会見 文化や観光など多面的に
2019/10/25	中日	千畝は「両国の重要な絆」 岐阜大 リトアニア大統領が 記念講演
2019/10/25	朝日	リトアニア大統領 杉原千畝記念館視察
2019/10/25	読売	リトアニア大統領 両国の友好発展願う 現職国家元首初 来県のビザ」原本閲覧
2019/10/25	毎日	リトアニア大統領 平和プレート除幕 「杉原の貢献 忘れ ず」

「地元企業との交流会」を開催

【概要】

本学グローバル推進機構は、令和元年11月27日（水）に留学生就職促進プログラムの一環として「地元企業との交流会」を岐阜信用金庫、朝日大学と共同開催しました。

本交流会は、日本での就職を希望している外国人留学生を対象に岐阜県内の企業を広く知ってもらうことを目的に、平成24年度から毎年度1回実施しており、今回で8回目の開催となります。生協第2食堂を会場とし、自動車部品、食品製造などグローバル展開をする地元企業12社とテストマーケティング（試食会）に参加した菓子メーカー3社がブースを出展し、60名の外国人留学生が参加しました。

今年度の新たな試みとして、本交流会で構築した外国人留学生と企業の繋がりを進展させるために外国人留学生及び企業向けインターンシップ相談窓口を設置しました。

参加した外国人留学生からは「大変良い経験となったので今後もこのような交流会に参加したいです」「就職活動にとっても役立つイベントだと思いました」などの感想がありました。

外国人留学生、企業ともに次の展開への期待が高まる交流会となりました。



地元企業から事業説明を聞く外国人留学生



テストマーケティングの様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/11/29	岐阜	外国人材マッチング 岐阜大など企業交流会 留学生60人参加
2019/11/29	中部経済	留学生との交流会で地元企業が事業説明 岐阜信金が開催

岐阜ジョイント・ディグリー・シンポジウム2020を開催

【概要】

令和2年12月8日（火）～9日（水），オンライン（Zoom）にて，岐阜ジョイント・ディグリー・シンポジウム2020を開催しました。昨年度に続き2回目となる本シンポジウムは，メインシンポジウムを東海国立大学機構（以下，東海機構）が，学術セッション及び産官学金連携セッションを岐阜大学グローバル推進機構が主催しました。

「ポストコロナ時代のジョイント・ディグリー～教育研究の国際化と地方創生～」をテーマとしたメインシンポジウムでは，伯井美德文部科学省高等教育局長によるポストコロナ時代の国際教育交流の現状と課題，それらを踏まえた施策，具体的事例等についての基調講演の他，本学が実施している4つのジョイント・ディグリープログラム（以下、JDPという）の現状と展望や，名古屋大学が実施するJDPについて講演が行われました。

講演の後，植松美彦グローバル推進機構長を座長としてディスカッションが行われ，その中でJDP設置大学等による協議会の設立の提案がなされ，佐藤邦明文部科学省高等教育局主任大学改革官からも全面的に協力したい旨の発言がありました。

閉会にあたり森脇久隆東海機構大学総括理事・副機構長から，協議会を立ち上げたうえで，文部科学省の支援を得ながら，JDPを日本に広げていくことで，先端的な国際交流の一端を担っていきたい旨の挨拶がありました。

学術セッションでは，小山博之グローバル推進機構副機構長を座長に「持続可能な地域開発のためのグローバル化推進」をテーマとして地域がそれぞれ持つ構想，地域開発計画や地域産業による環境に配慮したスマートテクノロジーの事例などの共有や意見交換が行われました。

産官学金連携セッションでは，「国際連携ジョイント・ディグリーを基軸とする地方創生」をテーマとして学術セッションで紹介された研究に関連した産官学金による諸活動の紹介及び情報共有が国内の産業界，行政，大学，金融関係者の間で行われました。

今回のシンポジウムは，メインシンポジウムが166名，学術セッションが81名，産官学金連携セッションが78名，のべ325名の参加者があり，大変有意義なシンポジウムとなりました。



メインシンポジウムの参加者

杉原千畝記念館 館長特別講演会 「在カウナス領事代理 杉原千畝に学ぶ」を開催

【概要】

令和3年5月31日(月)、本学にて、杉原千畝記念館 国枝大索館長をお招きし、特別講演会「杉原千畝に学ぶ」を開催しました。本講演会は、岐阜大学全学共通教育科目「異文化論（リトアニア学）」に関連して開催されたもので、学生が本科目を対面で受講している様子をZoom Webinarによりリアルタイムで配信しました。

講演会は、植松美彦岐阜大学グローバル推進機構長による挨拶及び毛利哲也工学部准教授によるリトアニア学の講義についての概要説明の後、国枝館長による講演があり、岐阜県八百津町出身で、在リトアニア・カウナス領事代理を務めた杉原千畝氏について、氏の領事代理在任時のユダヤ人を救うための行動を、当時の世界情勢と絡め詳細にご説明いただきました。

講演会には、受講生40名、オンライン参加者49名の計89名が参加し、熱心に講演を聞き入りました。受講学生からは、当時のリトアニアの政治的分断を初めて知った、杉原氏の勇気と行動力にあふれた人道支援に改めて感銘を受けた、といった感想が聞かれました。

本学は今後もリトアニアについて学ぶ機会を設け、同国への理解を深めていきます。



オンライン配信の様子



講演会場の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/6/1	岐阜	命のビザ 広がり知って「千畝氏以外の領事も尽力」 岐阜大で記念館館長が講演 ～ 工学部1年 祖父江祐太さん ～
2021/6/1	中日	「命のビザ」千畝の緊急措置 当時の世界情勢踏まえ語る 岐阜大で記念館・国枝館長 ～ 工学部1年 祖父江祐太さん ～

2021サマースクール（受入）をオンラインで開講

【概要】

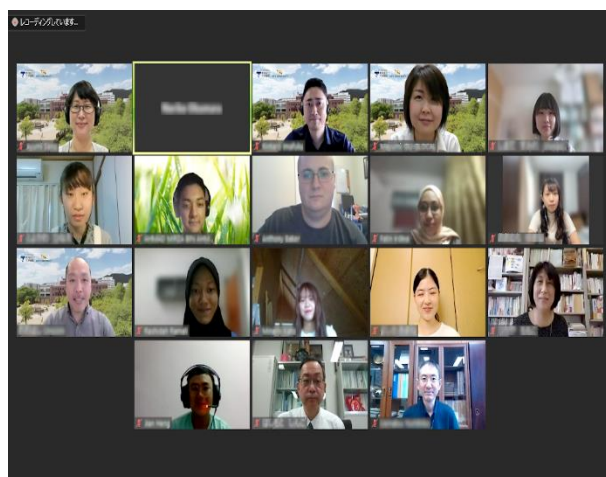
本学グローバル推進機構は、令和3年6月23日（水）から、サマースクール（受入）をオンラインで開講しました。ノーザンケンタッキー大学（アメリカ）、マレーシア国民大学（マレーシア）から合計5名の学生が参加し、これから7月7日（水）までの2週間、オンラインで日本語学習に励みます。

サマースクール（受入）は、本学の学術交流協定大学の学生を対象に毎年開講している留学生短期受入プログラムです。昨年度はCOVID-19の影響で中止となりましたが、今年度は通算33回目にして初めてのオンライン開催となります。サマースクール参加学生らは、日本語学習に加え、本学のボランティア学生と文化体験企画等で交流する中で、実際の日本語コミュニケーションにもチャレンジします。また、郡上八幡国際友好協会の協力のもと、郡上市立相生小学校の児童との交流や、郡上市の伝統的な街並みや郡上踊り、工芸品等を映像で紹介する伝統文化体験の時間も設けられています。

6月23日（水）は、開講式とガイダンス、4学部から参加したアシスタント学生による大学紹介を行いました。サマースクール参加学生らは、初日ならではの緊張感はあるものの、本学学生と交流する中で少しずつ表情が柔らかくなり、英語等を交えつつ積極的に日本語での会話に励みました。2週間という例年より短い期間の実施にはなりますが、実際の距離は遠く離れていても、オンラインでの交流を重ねる中で学生達の心の距離がより縮まることを期待しています。



ガイダンスの様子



開講式での記念撮影

ジョイント・ディグリープログラム 国際連携食品科学技術専攻（修士課程）の 第1期生（インド工科大学グワハティ校入学）が修了

【概要】

2021年7月16日（金）、岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻（修士課程）のインド工科大学グワハティ校を主大学として入学した第1期生が国際共同学位を取得しました。

本専攻は、本学において2019年度にインド工科大学グワハティ校（IITG）及びマレーシア国民大学と共同で開設した4つの国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム)の1つです。

学位伝達式はオンラインで執り行われ、本専攻1期生となるIITG入学の4名の修了生に学位記が授与されました。本学からは森脇久隆学長が祝辞のビデオメッセージを寄せられ、修了生たちが学位取得までに積み重ねてきた努力への賞賛とともに、将来の日印産業振興における修了生への期待を述べられました。

また、本卒業式の様子は現地新聞やオンラインニュースに多数取り上げられ、インドにおける本専攻の注目度の高さが窺えます。

Name	Program	Partner University
Ms. Thongam Debika Devi	Energy General Exchange Programme (GESR)	Kyoto University, Japan
Mr. Jishnu Choudhury	Civil Summer Internship	Ecole Centrale de Nantes, France
Mr. Mayank Sharma	Chemical International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Mr. Sanjay Raghuvanshi	Chemical International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Mr. Rupesh Kumar	Chemical International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Ms. Priyanka Vilas Korgaonkar	Chemical International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Mr. Vinod Gajmer	Civil Summer Internship	Carema Mediterranean, Aix-en-Provence, France

修了生4名の氏名が掲載されたスクリーン



森脇学長の祝辞

将来ビジョン 「社会貢献」

社会貢献

地域社会の
活性化に貢献

- 岐阜県との連携による教育研究の推進と地域貢献（防災・減災センター事業の推進、岐阜県中央家畜保健衛生所・食品科学研究所のキャンパス内移転、ぎふ地域学校協働活動センターの設置、航空宇宙生産技術開発センターの立上げ）
- COC事業とCOC+事業の推進（地域志向人材の育成・認証）
- 産官学連携事業による地域産業界への貢献を推進（東海（中部）コンソーシアム化、産学金官プロジェクト）
- ダイバーシティ戦略の県内展開



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

企画展「岐阜大学コレクション展」を開催

【概要】

本学が所有する貴重な学術、歴史資料を紹介する企画展「岐阜大学コレクション『岐阜県』を知るために一展」が令和元年12月14日（土）から令和2年3月1日（日）まで、美濃加茂市蜂屋町的美濃加茂市民ミュージアムで開催されました。

この企画展では、本学が創立70周年を機に整備し、各学部が集めた資料を収蔵、展示する「アーカイブ・コア」の収蔵品、本学教育学部附属郷土博物館所蔵品を紹介し、古文書や植物標本、出土品など262点を展示しました。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/12/14	岐阜	古文書や植物標本 岐阜大資料を展示 美濃加茂できょうから ～「岐阜大学コレクション『岐阜県』を知るために一展」～
2020/2/19	毎日	岐阜大所蔵の資料 県史ひもとく260点 美濃加茂で企画展

岐阜県内公共団体との連携協定締結状況

【概要】

本学と瑞穂市は、令和元年12月24日（火）にまちづくり及びコミュニティの活性化や人材育成、産業の振興及び地域情報化等、6項目の包括的な協定を締結しました。

協定締結式では、森脇学長から「瑞穂市は都市圏にあり、まちづくりが成功しており、その三つの強みとして、岐阜県下において人口が伸び続けており、一次・二次・三次産業がバランスよく配属されており経済力が強く、市内に朝日大学があり教育力も強いまち、と認識している。これからは包括連携協定の下で、大学側が勉強させていただくことが多いと思われ、これまでの個別の協力を束ねることによって、大学にとっても瑞穂市にとってもより良い方向に持っていきたい。」と、森瑞穂市長からは「これから10年ぐらいは人口が伸びていくと予測されているが、その後減少するため、人口が増えている間に、しっかりとした都市としての基盤づくりや、地域の絆を深めるために、今回の協定の中で大学の協力を得て、まちづくりや人材育成を進めていきたい」と挨拶がありました。



左：森瑞穂市長、右：森脇学長
(26件目の包括連携協定)

本学と飛騨市は、令和2年2月28日（金）に人口減少時代のまちづくりに関すること、地域との交流推進に関すること等、8項目の連携に関する協定を締結しました。

協定締結式では、森脇学長から「飛騨市は非常にバラエティに富んだ地域であり、本学学生が地域に溶け込む形でデザイン的思考を働かせつつ、地域貢献したい」と、都竹飛騨市長からは「飛騨市は人口減少先進地であり、様々な重要な問題を抱えている地域である。課題を解決するためには、岐阜大学との連携が必要不可欠である。今回は非常に楽しみな協定締結である」と挨拶がありました。



左：都竹飛騨市長、右：森脇学長
(27件目の包括連携協定)

岐阜県内公共団体との連携協定締結状況

【概要】

本学と瑞浪市は、令和2年3月10日（火）に地域の活性化及びまちづくりに関すること、防災及び環境施策の推進に関すること等、8項目の連携に関する協定を締結しました。

協定締結式では、森脇学長から「本学は地域活性化の中核拠点であることをミッションとしており、4月の名古屋大学との法人統合後も、この部分については不変である。地域活性化の中核人材を育てるために、域学協働という動き方ができることを大変感謝している。」と、水野瑞浪市長からは「岐阜大学の学生に瑞浪市をキャンパスとしてさまざまな課題に取り組んでいただき、日本をリードする人材に成長していただきたい。その中から瑞浪市で活躍する人材も期待したい。」と挨拶がありました。



左：森脇学長、右：水野瑞浪市長
(28件目の包括連携協定)

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/12/25	岐阜	地域リーダーを育成 瑞穂市と岐阜大が連携協定 ～ 森脇久隆 学長 ～
2019/12/27	中日	瑞穂市と岐阜大が人材育成など協定 市役所で締結式 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/2/29	岐阜	人口減解決策を探る 岐阜大と飛騨市が連携協定 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/2/29	中日	人材育成など包括連携協定 岐阜大と飛騨市 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/3/3	日本経済	「過疎学」研究で包括連携協定 岐阜大と飛騨市
2020/3/26	読売	瑞浪市 岐大と協定

岐阜県気候変動適応センター設置に関する協定を締結

【概要】

令和2年1月17日（金）、本学は岐阜県と岐阜県気候変動適応センター設置に関する協定を締結しました。

岐阜県気候変動適応センターは令和2年4月に本学構内に設置され、本学から気象、水環境、森林、農業を研究する研究者十数名が参加し、岐阜県内における気候変動影響及び気候変動適応に関する情報を収集・整理・分析し、県内の産業、自然環境などに生じる様々な影響を予測し、ニーズに応えた適応策を研究します。

そのほか、リスクマネジメントに取り組む人材育成や研究成果を情報発信し、普及啓発を推進します。平成30年度に気候変動適応法が施行され、全国で気候変動に対する取り組みが求められている中、大学と自治体が共同で設置することは全国初の取り組みになります。

協定締結式では、森脇学長から「県行政機関と大学がここまで密に連携したセンターは日本初である。また、4月から東海国立大学機構岐阜大学がスタートするが、本学の地域貢献を進める体制に変わりはない。今後も県と協力していく」、古田岐阜県知事から「県と大学での相乗効果で良い結果を生みたい」と挨拶がありました。

今後、本学は岐阜県と協力して、気候変動適応に向けた取り組みを進めていきます。



左：古田岐阜県知事、右：森脇学長

【メディア掲載】

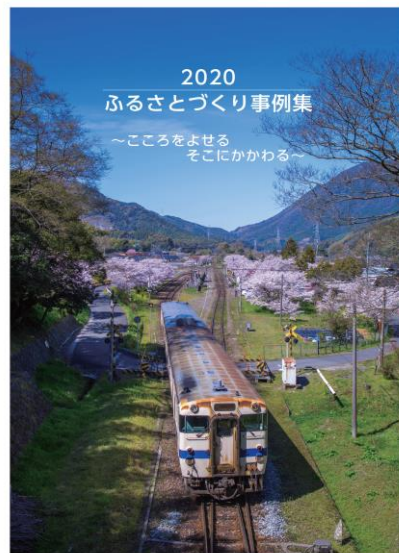
掲載日	新聞社名	内容
2020/1/18	岐阜	県と岐阜大, 気候変動の情報収集 センター設置で協定 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/1/18	中日	県と岐阜大 気候変更適応研究で協定 全国初 今春拠点を設置 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/1/20	朝日	気候変動に対応, 県と岐大連携 4月に「適応センター」 開設 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/1/23	読売	気候変動 官学で対応 県と岐阜大, センター設置 農林水 産業や災害研究

2020ふるさとづくり事例集に 岐阜大学地域協学センターが掲載されました

【概要】

令和2年8月5日にふるさと活性化支援チームにより内閣総理大臣に手交された、全国各地の地域活性化策を紹介する「2020ふるさとづくり事例集～ここをよせる そこにかかわる～」に、教育的かかわりとして、「『地域活性化の中核拠点』として地方創生に貢献 東海国立大学機構岐阜大学地域協学センター」が掲載されました。

ふるさとづくり事例集は、全国のふるさとづくりの101の優良事例がとりまとめられたものであり、単に事例を紹介するだけでなく、現在に至るまでの紆余曲折のプロセスを含めて取り組みの成果を掲載するとともに、団体のQRコードやwebサイト、視察の可否等も掲載されており、ふるさとづくりに取り組まれる方への課題解決のヒントにつながるもので、本事例集に大学で取り上げられているのは、岐阜大学と香川大学のみです。



報告の様子



森脇学長との記念撮影

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/9/25	中日	地元志向の人材育成に評価 政府のふるさとづくり事例集掲載 ～ 森脇久隆 学長、地域協学センター 益川 浩一 センター長 ～

航空宇宙生産技術開発センター開所

【概要】

国内初となる航空宇宙生産技術に関する科学的・体系的な教育・研究開発を行う拠点として、岐阜大学に設置されました。産学金官が連携し、将来の航空宇宙産業界に必要とされる人材の育成、研究開発を行います。2020年より、東海国立大学機構 航空宇宙航空宇宙研究教育拠点 の組織として、名古屋大学とともに活動しています。

航空宇宙産業の集積度が高い中部圏は、内閣府により国際戦略総合特区として指定され、今後も成長が期待されています。労働集約型工場が多い航空宇宙産業では、抜本的な生産性向上が求められていますが、そのために必要とされる生産技術は、関係する学問や技術分野が極めて広く、網羅的に教育・研究を行う機関が求められていました。

当センターでは、岐阜大学が持つ航空宇宙生産技術と、名古屋大学が持つ航空宇宙設計技術の互いの強みを生かし、必要とされている教育・研究、地域企業との連携を行うことで、魅力ある大学づくりと地域産業のさらなる発展を支えます。

令和3年4月19日（月）には、航空宇宙生産技術開発センター開所記念式典を執り行い、古田肇岐阜県知事、松尾清一東海国立大学機構長、森脇久隆岐阜大学長、その他岐阜県や企業の関係者等およそ45名が開所記念式典に出席し、本センターの本格運用開始を祝福しました。

式典では、関係者による挨拶の後、テープカットで開所を祝い、グループに分かれて施設内を見学する内覧会が行われました。また、式典終了後には、「空飛ぶクルマ」と題して、株式会社スカイドライブの最高技術責任者 岸信夫氏による講演が行われ、オンライン配信も含めおよそ400名の関係者や学生が聴講しました。



テープカット



内覧会

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/5	毎日	生産性向上 地方創生へ ～ 航空宇宙生産技術開発センター長 小牧博一さん ～
2021/4/20	岐阜	航空宇宙産業の国際競争力向上、人材育成 生産技術開発センター開所 産学金官連携、岐阜大内に
2021/4/20	中日	航空宇宙研究拠点 岐阜大構内に開所 生産技術開発センター
2021/4/20	読売	航空宇宙産業の新拠点 岐阜大敷地に 技術開発や人材育成
2021/4/20	毎日	航空宇宙開発の拠点に 岐阜大で生産技術センター本格稼働 工作ロボや運搬技術など開発
2021/4/20	日本経済	航空機部品の生産 効率化 岐阜大・名大が新研究拠点 AI管理や人材育成
2021/4/20	中部経済	岐阜大の宇宙産業拠点が本格稼働
2021/4/21	朝日	航空宇宙研究拠点 岐大の構内に開設 ～ 航空宇宙生産技術開発センター ～

岐阜大に最高評価 文部科学省「拠点大学による地方創生推進事業」

【概要】

本学は、地域活性化の拠点となる大学の形成を目的としたCOC事業、及び、それを引き継いだ、複数大学等で協働して地域が求める人材を養成し、その人材を地域に定着させるような大学の取組みを支援するCOC+事業において、3度の評価全てで最高の「S」評価を獲得しました。3度の評価において全て「S」を獲得したのは、全国で本学のみとなります。

地域に根ざした国立大学として地域の課題解決に取り組み、地域の活性化に貢献することを目的として設立されたのが地域協学センターであり、28の自治体と包括連携協定を結ぶなど、地域や地域産業界とも連携して様々な取組みを進めています。

取組みの核となる「次世代地域リーダー育成プログラム」は、「地域を知り」「地域の課題を見つけ」「地域の課題解決に向けて行動する」能力を備えたグローバルな人材を育成することを目的としており、全学部生に向けて本プログラムの受講を推進しています。なお、本プログラムは、地域リーダーコース・産業リーダーコース・教育リーダーコースの3つのコースで構成されており、他大学や自治体、企業等と協働して取組みを進めていることも大きな特徴の1つとなっています。

また、「ぎふフューチャーセンター」と呼ばれる、学生を含めた多様な人々が地域の課題解決に向けた対話を行う場の創出や、複数の学問の協働によって地域の課題解決を図る「地域志向学」の推進などにも力を入れています。

今後は岐阜県を含めた東海地域に範囲を広げながら、地域創生SDGsの推進拠点として、「次世代地域リーダー育成プログラム」内に新たに環境リーダーコースを設置する等、今までに取り組んできたことを更に発展させながら、東海地域全体の様々なニーズに応えるプラットフォームとして邁進していきます。



説明する森脇学長



説明する益川地域協学センター長

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/2	岐阜	地方創生推進カリキュラム 岐阜大「最高評価」 文科省事業 ～ 地域協学センター 益川浩一センター長 ～
2021/4/6	中日	岐阜大に最高評価 文科省の「拠点大学による地方創生推進事業」 森脇学長「人材定着に貢献」 ～ 森脇久隆 学長, 地域協学センター 益川浩一センター長 ～

将来ビジョン 「大学病院」

大学病院

高度医療拠点としての機能
強化と地域医療への貢献

- 地域連携の基盤に立った拠点機能の強化（バースセンターの県内配置、手術棟の建設、重粒子線治療施設の導入）
- 臨床研修体制の強化と自治体等との連携による地域医療人材の育成
- 臨床研究と創薬・新医療技術開発の推進
- 医療情報（電子カルテ）システムの統合



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

夜間でも着陸可能！移動型照明を開発

【概要】

本学と学校法人ヒラタ学園は、災害発生時の物資搬送や緊急対応で照明設備のないヘリポートでも夜間着陸が可能となるヘリ専用移動型照明設備（地面設置用）を開発しました。

工事を伴う常設型より大幅に低価格で、持ち運びや設置方法でもこれまで夜間照明の既製品が普及してこなかった多くの課題を解消しています。

この新開発の製品を普及させることにより、全国にあるヘリコプター離着陸場の90%以上で夜間の離着陸ができない状況を少しでも改善していけることを目指しています。

令和2年2月18日（火）に、兵庫県神戸市の学校法人ヒラタ学園神戸エアセンターにて記者発表会を行いました。



ドクターヘリ

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/2/19	岐阜	簡易照明でヘリ離着陸 岐阜大などが開発 夜間や緊急時、
2020/2/19	中日	ヘリ離着陸 どこでも照らす 岐阜大など開発
2020/2/25	毎日	岐阜大、ヒラタ学園など ヘリ簡易照明セット開発 格安、 軽量 設置の手軽さ売り

ドクターヘリ運用開始10年

【概要】

岐阜県は、中山間地域の面積が非常に大きく、その環境下での救急医療において、限られた医療資源を効率よく活かすことが課題となっていました。それを克服するため、岐阜県ドクターヘリの運航が開始し、令和3年2月9日をもって運航開始から10年が経過しました。

2017年に高次救命治療センター内にドクターヘリ部門を設置し、各機関との対応窓口を明確化するとともに、ドクターヘリについて県内への周知を再度徹底しました。その結果、運航開始からこれまでに延べ4,252件（2020年12月時点）の実績をあげています。

広大な県土が運航範囲となっているがゆえに、岐阜県ドクターヘリの運航開始後も様々な課題が生じました。しかし、県北部に給油拠点を整備することにより、残燃料による搬送先制限等の問題が解決されました。さらにドクターヘリによる対応が困難な場合の「施設間（転院）搬送」において、消防防災ヘリコプターを使用し、搬送を受ける病院の医療スタッフが搭乗して対応する補完運用を開始するなど、様々な解決策を講じています。

このように各機関が一体となり、これまでの10年間で当たり前のインフラとして岐阜県にドクターヘリ（航空医療）を整備することが出来ました。これからの10年間は高次救命治療センターの救急活動理念の1つである「Right patient to the right hospital in the right time（適切な患者を適切な病院に適切なタイミングで）」を具現化することが目標となります。

これからも岐阜県ドクターヘリは、岐阜県に住むすべての人・岐阜県を訪れるすべての人のために、日々活動をブラッシュアップし、日本一を目指して質の高い活動を続けていきます。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/9/23	朝日	ドクターヘリ 試行錯誤10年目 「迷ったら呼んで」～ 高次救命治療センター 小倉真治 センター長～
2021/2/6	岐阜	質高い活動続ける 県ドクターヘリ 運用10年で会見～ 高次救命治療センター 小倉真治センター長、ドクターヘリドクターカー部門 山田法顕部門長～
2021/2/6	朝日	ドクターヘリ 救命加速 転院搬送、防災ヘリも協力 県導入9日で10年～ 高次救命治療センター 小倉真治センター長、ドクターヘリドクターカー部門 山田法顕部門長～
2021/2/11	中日	県ドクターヘリ 運航10年 岐阜大病院幹部「より適正な運用に努めたい」～ 高次救命治療センター 小倉真治センター長、ドクターヘリドクターカー部門 山田法顕部門長～

岐阜大学高等研究院遺伝子検査室が 登録衛生検査所に認可

【概要】

本学高等研究院と医学部附属病院が協働してゲノム研究棟内に設置した高等研究院遺伝子検査室が、2021年3月1日付けで登録衛生検査所に認可されました。

本学は、長年にわたり指定難病である副腎白質ジストロフィーとペルオキシソーム病の国内診断拠点として機能してきましたが、研究成果の社会実装を目的に2019年7月に医学部附属病院検査部に難病検査部門を新設するとともに、ゲノム研究棟内に難病検査室を設置し、さらに今回の高等研究院遺伝子検査室の登録衛生検査所認可により、全国の医療機関に難病診断を保険診療にて安定して提供することが可能になりました。

岐阜県では、2021年4月より一般社団法人東海マススクリーニング推進協会主導の下、岐阜県公衆衛生検査センターと県内産婦人科・新生児医療機関、本学医学部附属病院小児科の協力により、県内の出生児を対象に副腎白質ジストロフィーを含めた7つの疾患を追加した、新たな新生児スクリーニング検査が開始されています。また愛知県でも、追加スクリーニング検査に副腎白質ジストロフィーが新たに加わり、両県で全国に先駆けて副腎白質ジストロフィーの新生児スクリーニング検査が実施され、陽性と判定された新生児は名古屋大学医学部附属病院と本学医学部附属病院の小児科を受診し、精密検査は全て本学で行われることとなります。

吉田医学部附属病院長、王副学長（研究・産学連携・情報担当）は、「全国難病患者の診断実績を積み重ねて、社会貢献から大学のプレゼンス向上に寄与することを期待しています。」と激励しました。

引き続き、全国の対象難病患者の早期診断から疾患克服に取り組むとともに、学内における新たな診断法開発等の研究成果の臨床実装にも協力していきます。



集合写真

(左から) 吉田医学部附属病院長、高島ゲノム研究分野助教、下澤ゲノム研究分野長、渡邊検査部副部長、王副学長（研究・産学連携・情報担当）、田中科学研究基盤センター長

岐阜市証明保保(保)第57号

衛生検査所登録証明書

住所 愛知県名古屋市中区不老町1番
氏名 国立大学法人 東海国立大学機構

臨床検査技師等に関する法律第20条の3第1項の規定により、
下記のとおり登録したことを証明する。

記

衛生検査所の名称 岐阜大学高等研究院遺伝子検査室
衛生検査所の所在地 岐阜市柳川1-1
検査業務の内容 遺伝子関連・染色体検査 生体組織系関連遺伝子検査

登録番号 第213409号
登録年月日 令和3年3月1日

令和3年3月1日
岐阜市保健所長 中村 こそ枝

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/5/18	岐阜	新生児の希少疾患追加検査 県内の受検率44% 動画で啓発、順調な滑り出し ～「東海マススクリーニング推進協会」理事長・下澤伸行教授～

オンライン実習「岐阜大学病院バーチャル見学」を開催

【概要】

医学部医学科では、1年生前期に必須科目である「初期体験実習」が実施され、地域の医療・教育・保健・福祉等の施設で毎年実習を行っています。

令和3年6月17日（木）、オンラインシステムを使用して、講義室と岐阜大学病院内（救急領域）をリアルタイムで中継し、施設内の様子を見学したり、ジンバルを利用したスマートフォン等で動きのある中継を試みました。そして、医療スタッフとコミュニケーションをとる実習を行いました。

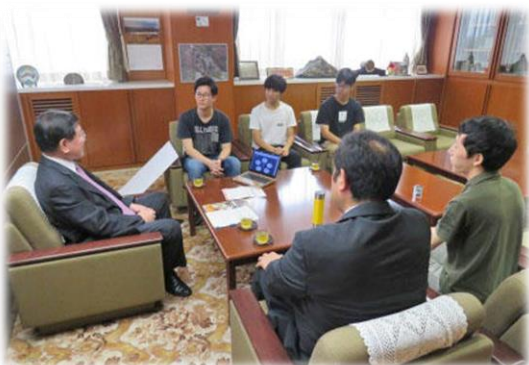
【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/6/18	岐阜	岐阜大、中継で救命実習 医療の道, 学びは止めない ～ 医学部医学科1年生、医学部附属病院高次救命治療センター 熊田恵介医師 ～
2021/6/18	中日	救命現場 画面越し見学 岐阜大医学部生 将来へ意識 高める ～ 医学部医学科1年生、医学部附属病院高次救命治療センター 熊田恵介医師 ～

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2020/7/7	CCN 地上デジタル12ch 「エリアトピックス」	オンライン実習「岐阜大学病院バーチャル 見学」の様子を紹介

学生活動等



「愛知県大学対抗ハッカソン"Hack Aichi"」で最優秀賞

【概要】

令和元年9月7日（土）、14日（土）、15日（日）にデンソー名古屋オフィスで行われた「愛知県大学対抗ハッカソン"Hack Aichi"（愛知県主催）」に出場した本学学生チームが最優秀賞の愛知県知事賞を受賞しました。

ハッカソンとは、ソフトウェアのエンジニアリングを指す「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、ITを活用して新たなサービスや製品等の開発を競い合うイベントです。本イベントは、全国の大学の学生を対象とし、今回が初開催となります。

本学学生チームはハッカソンにおいて、台風などで鉄塔が倒壊する前に鉄塔の劣化を検知する方法について提案し、検知のための機器を実際に作成しました。これは鉄塔だけでなく、他の建造物等にも応用できるものです。

令和元年10月2日（水）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による森脇学長への報告会が行われました。

グランプリに出場した学生は「普段の研究とは違い、ものづくりだけでなくマーケティングなども考えないといけないことが難しかった。チームとして成し遂げられたことが大きい」と報告し、森脇学長は「今回学んだことやチャレンジすることを後輩たちに教えていってほしい」と称えました。



受賞報告の様子



集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/10/3	岐阜	岐阜大チーム愛知県知事賞 大学対抗ハッカソン IT 関連サービスや製品考案 ～ 工学部機械工学科4年 笹竹佑太さん、北野郁弥さん、津田裕貴さん、前野大輝さん～

本学留学生が講演：警察官が韓国文化学ぶ

【概要】

本学大学院自然科学技術研究科2年の姜昭娟（カン・ソヨン）さん（韓国出身）が、令和元年12月16日（月）に、日本と韓国の食事のマナーの違いやハングル語のルールなどについて、岐阜北署で講演をしました。

この講演は、平成31年4月の改正入管難民法の思考を受け、外国にルーツを持つ人への理解を深めることを目的とし、今後、外国人移住者の増加が見込まれることから、本年度から各国の留学生を招いて開催しています。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/12/17	岐阜	警察官が韓国文化学ぶ 岐阜大留学生招き講座 岐阜北署 ～ 自然科学技術研究科 2年 姜昭娟さん ～
2019/12/17	中日	外国人への対応 文化理解し強化 岐阜北署で留学生講演 ～ 自然科学技術研究科 2年 姜昭娟さん ～

馬術部厩舎火災からの再建

【概要】

令和2年6月23日午前2時25分頃、岐阜県柳戸にある岐阜大学の構内馬術部厩舎（鉄骨2階建て）で火災が発生し、延べ250㎡が全焼し、およそ1時間半後に消火しましたが、この火災で厩舎にいた馬四頭が死亡しました。

厩舎の建て直しには莫大なお金がかかります。数か月間、大学との話し合いをすすめて、多くの皆様からいただいた支援金と火災の保険金を合わせると、大きさや設備が最低限の厩舎は建設できるだろう、というところまでくることができました。

しかし、今ある金額で建設できる厩舎は、馬にとっても、人にとっても使いづらいものになってしまうことが予想されるため、クラウドファンディングなども活用して、馬も人も過ごしやすい新厩舎の建設を進めております。



JAぎふ 助成金目録贈呈式の様子



JAぎふ 助成金目録贈呈式集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/11/17	中日	岐阜大厩舎 全焼から5ヶ月 馬術部 悲劇乗り越えて愛馬への思い胸に「再建」～馬術部主将 3年 岩本華さん～
2021/1/12	岐阜	岐阜大馬術部厩舎全焼から半年 失った愛馬に再建誓う～馬術部主将 3年 岩本華さん～
2021/4/14	岐阜	岐阜大の厩舎再建と野鳥研究 JAぎふ200万円寄付 ～岐阜大馬術部、応用生物科学部野生動物資源学研究室～
2021/4/14	中日	消失厩舎再建へ100万円 JAぎふ 岐阜大馬術部に助成金～馬術部主将 水野智絵さん～
2021/4/18	毎日	大学スポーツ365日：厩舎全焼「相棒」を失った岐阜大馬術部 馬と過ごす「幸せ」知る～馬術部4年 岩本華さん～

「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」 文部科学大臣賞、審査委員会特別賞を受賞

【概要】

令和3年1月29日（金）にビジネスプランを競い合う「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」がオンラインで開催され、本学大学院自然科学研究科物質・ものづくり工学専攻1年の長曽我部竣也さんらのグループ（メンバー：工学部化学・生命工学科4年 澤田里奈さん、愛知工業大学大学院 吉川大貴さん）が文部科学大臣賞・テクノロジー大賞を、医学部看護学科3年 野村奈々子さんが審査委員会特別賞を受賞しました。

大会では長曽我部さんは感染症（虫除け）対策に有効な衣類を開発・製品化するビジネスプランを、野村さんは看護学生に向けたキャリア支援プログラムを発表しました。

3月1日（月）には、学長へ成果報告を行いました。長曽我部さんは、「今後は法人化し、開発に関する問題を解決して商品化まで持って行きたい」と、野村さんは、「ネットで検索して辿り着いた人だけに見てもらうのではなく、新たな情報の届け方として、フリーペーパーを作成し、全国の看護学校に配布していきたい。」と今後の目標を述べ、森脇学長は、「モノだけでなく、コトのビジネスプランも立ち上がってきて、その両方が受賞するというのは大学として名誉なことだ」と称えました。



受賞報告の様子



集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/9	日刊工業	第17回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会表彰式 ～ 文部科学大臣賞 長曽我部竣也さん、審査委員会特別賞 野村奈々子さん ～

その他



松尾機構長、森脇久隆大
学総括理事就任記者会見
及び看板除幕式を挙行

2020年4月 1日

国立大学法人東海国立大学機構

【概要】

令和2年4月1日、国立大学法人岐阜大学と国立大学法人名古屋大学とが統合し、国立大学法人東海国立大学機構（以下、「東海機構」という）が設立したことを受け、同日、名古屋大学において、同機構長、大学総括理事兩名の就任記者会見及び東海機構の看板除幕式を挙行了しました。



松尾機構長、森脇久隆大
学総括理事就任記者会見
及び看板除幕式を挙行

2020年4月1日



1. 国立大学法人東海国立大学機構について

●国立大学法人東海国立大学機構の創設について

世界と日本がかつてない規模とスピードで激変していく中で、**国立大学法人岐阜大学**と**国立大学法人名古屋大学**は、未来に向けて教育研究機能を抜本的に強化し、東海地域の持続的発展に一層貢献するため、2018年4月以降、一法人複数大学による機構設立に向けて協議を重ねてきました。

その後、関係者の皆様からの多大なるご支援により2019年5月24日に「学校教育法等の一部を改正する法律」（令和元年法律第11号）が公布され、この法律が施行された2020年4月1日に**国立大学法人岐阜大学**と**国立大学法人名古屋大学**は統合し、**国立大学法人東海国立大学機構**が創設されました。

今後、国立大学法人東海国立大学機構は、大学・産業界・地域の発展の好循環を創出する我が国の新しいモデルを構築し、国際的な競争力向上と地域創生への貢献を同時に達成することを目指します。

また、**岐阜大学**と**名古屋大学**の強みのある分野を中心に、世界最高水準の研究を展開することによる知の中核拠点化と国際通用性のある質の高い教育の実践を目指します。

●国立大学法人東海国立大学機構の基本情報

組織規模	岐阜大学		名古屋大学	
	5 学部 8 研究科 (附属病院病床数：613)		9 学部 13 研究科 (附属病院病床数：1,080)	
※ 2020年4月1日現在				
学生数	岐阜大学		名古屋大学	
	学部学生 5,662 人 大学院学生 1,595 人 研究生等 69 人 附属学校生徒 1,075 人		学部学生 9,585 人 大学院学生 6,187 人 研究生等 354 人 附属学校生徒 597 人	
※ 2020年5月1日現在				
教職員数	岐阜大学		名古屋大学	
	教員 1,353 人 (常勤 865・非常勤 488) 職員 2,395 人 (常勤 1,468・非常勤 927)		教員 2,250 人 (常勤 1,742・非常勤 508) 職員 5,187 人 (常勤 2,208・非常勤 2,979)	
※ 令和元年度事業報告書ベース (2019年5月1日現在)				
施設規模	岐阜大学		名古屋大学	
	土地 7,209,434 m ² (備入 221,597 m ² を除く) 建物 322,182 m ² (備入 3,541 m ² を除く)		土地 1,642,907 m ² (備入 1,572,585 m ² を除く) 建物 816,019 m ² (備入 2,068 m ² を除く)	
※ 2020年5月1日現在				

※ 国立大学法人 東海国立大学機構 財務レポート2020 より

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/10/19	朝日	初代機構長に名大・松尾総長
2019/10/21	毎日	東海国立大機構 トップに松尾氏
2019/10/22	岐阜	新法人トップに松尾氏正式指名 岐阜大・名大
2019/10/22	中日	松尾学長を機構長に指名
2019/10/22	日本経済	機構長に名大・松尾学長 岐阜大と総合の新法人
2019/10/23	読売	東海国立大機構 トップに松尾氏 文科相指名
2020/1/10	中日	世界に通用する研究拠点つくる 4月発足「東海国立大学機構」対談 名古屋大 松尾清一総長×岐阜大 森脇久隆学長
2020/1/10	中日	名古屋大、岐阜大 法人統合で4月発足 「東海国立大学機構」ロゴ決定
2020/2/29	毎日	名古屋大と岐阜大 県境超え運営法人統合 「東海国立大学機構」4月発足 国際的競争力向上と地域創生貢献
2020/3/1	岐阜	岐阜大学と名古屋大学 4月1日 運営法人を統合 地域貢献で未来を創世
2020/3/26	日本経済	名大・岐阜大、4月統合の新法人 人事制度や教育 長所融合 優秀な学生獲得へ競争力
2020/3/30	朝日	岐大・名大 運営法人を統合 「東海国立大学機構」4月1日発足 事務部門を効率化
2020/3/31	岐阜	岐阜大と名大の「東海国立大学機構」 研究力強化と事務集約 あす新法人スタート
2020/4/1	朝日	東海国立大学機構きょう発足 トップ2氏に聞く 研究・教育力高め 社会への貢献さらに ～ 森脇久隆学長 ～
2020/4/2	岐阜	東海国立大学機構発足 岐阜大と名大、県境越え初の統合 研究と教育強化、地方創生

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/4/2	中日	東海国立大学機構発足で岐阜大学長が抱負 国際競争力の増進と地域創生へ貢献両輪
2020/4/2	読売	名大・岐阜大 統合法人が発足
2020/4/2	朝日	名大と岐大「東海国立大学機構発足」発足 「東海から世界めざす」
2020/4/2	毎日	名大と岐阜大が運営法人を統合 東海国立大学機構
2020/4/2	日本経済	名大・岐阜大が法人統合 東海機構 国立大、初の県境越え
2020/4/5	岐阜	論 ぎふ目線 岐阜大、名大の「東海機構」 相乗効果で地域創生を
2020/9/26	岐阜	岐阜大と名大 新たな教育棟 大規模実験 3Dで仮想体験
2021/1/7	読売	東海国立大学機構長・名古屋大学長 松尾清一氏に聞く オンライン併用 質を維持 「糖鎖」研究も本格始動
2021/1/13	日本経済	動き出した大学再編・統合 名古屋大×岐阜大 新たな知 創出へ 糖鎖や航空宇宙 重点分野に投資
2021/4/3	岐阜	教育デジタル化で新部署 東海国立大学機構が設置
2021/4/3	中日	講義, 研究のデジタル化拠点 東海国立大学機構 名大にDU室設置
2021/4/3	中部経済	東海国立大学機構 研究デジタル化を加速 新部署、学内外で「知」活用
2021/4/9	毎日	知の提供, オンラインで 岐阜大と連携 名大内に新部署
2021/4/11	毎日	オンラインで研究成果提供 岐阜大と名大「デジタルユニバーシティ室」
2021/5/28	岐阜	岐阜大と名大「東海国立大学機構」1年 連携強み 深い学びへ コロナ対策 相互サポートへ ～ 森脇久隆 学長 ～

第70・71回岐阜新聞大賞

【概要】

学識経験者らによる選考委員会（委員長：森脇学長）で慎重に審査した結果、令和元年度「第70回岐阜新聞大賞」が6氏、1団体に贈呈され、学術部門では、本学名誉教授の松川禮子氏が受賞しました。

贈呈式は令和2年2月8日（土）に岐阜放送テレビスタジオにて行われました。

学識経験者らによる選考委員会（委員長：森脇学長）で慎重に審査した結果、令和2年度「第71回岐阜新聞大賞」が6氏、1団体に贈呈され、学術部門では、本学名誉教授の野々村修一氏、千家正照氏が受賞しました。

贈呈式は令和3年2月6日（土）に岐阜放送テレビスタジオにて行われました。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/1/12	岐阜	「第70回岐阜新聞大賞」決まる～松川禮子 名誉教授、委員長 森脇久隆 学長～
2020/1/30	岐阜	輝く功績 第70回岐阜新聞大賞受賞者：小学校英語導入に尽力～学術部門 松川禮子 名誉教授～
2021/1/27	岐阜	輝く功績 第71回岐阜新聞大賞受賞者：学術部門 農業の基盤強化に専心～千家正照 名誉教授～
2021/1/28	岐阜	輝く功績 第71回岐阜新聞大賞受賞者：学術部門 太陽光発電発展支える～野々村修一 名誉教授～